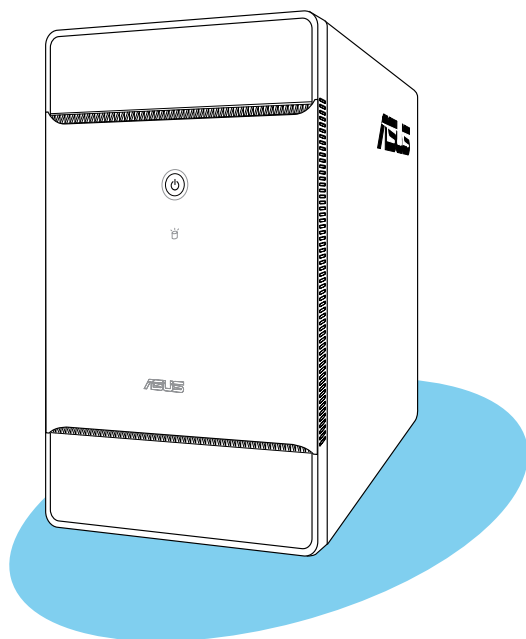


# ASUS<sup>®</sup>

## T3-M2NC51PV

ASUS PC (デスクトップベアボーン)

### セットアップマニュアル



J2672

初版第 1 冊

2007年8月

Copyright © 2007 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

以下の場合、保証やサービスを受けることができません。

- (1)ASUSが明記した方法以外で、修理、改造、交換した場合。
- (2)製品のシリアル番号が読むことができない状態である場合。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証もいたしません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害(利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む)に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、予告なしに内容の変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

# もくじ

ご注意 .....	vi
安全上のご注意 .....	vii
このマニュアルについて .....	viii
パッケージの内容 .....	x

## Chapter 1: システムの概要

1.1	ようこそ .....	1-2
1.2	フロントパネル (外部) .....	1-2
1.3	フロントパネル (内部) .....	1-3
1.4	リアパネル .....	1-4
1.5	内部コンポーネント .....	1-6

## Chapter 2: 基本取り付け

2.1	準備 .....	2-2
2.2	始める前に .....	2-2
2.3	カバーを取り外す .....	2-3
2.4	電源装置を移動する .....	2-4
2.5	CPUを取り付ける .....	2-4
2.5.1	CPU ファンとヒートシンクを取り外す .....	2-4
2.5.2	CPU を取り付ける .....	2-5
2.5.3	CPU ファンとヒートシンクを再び取り付ける .....	2-7
2.6	メモリを取り付ける .....	2-8
2.6.1	メモリ構成 .....	2-9
2.6.2	メモリを取り付ける .....	2-13
2.7	拡張カードを取り付ける .....	2-14
2.7.1	拡張スロット .....	2-14
2.7.2	拡張カードを取り付ける .....	2-15
2.8	光学ドライブを取り付ける .....	2-17
2.9	ハードディスクドライブ (HDD) を取り付ける .....	2-17
2.10	電源装置を再び取り付ける .....	2-19
2.11	カバーを再び取り付ける .....	2-21

# もくじ

## Chapter 3: 起動

3.1	OS をインストールする .....	3-2
3.2	電源をオンにする .....	3-2
3.3	サポート CD 情報 .....	3-2
3.3.1	サポートCDを実行する .....	3-3
3.3.2	ドライバメニュー .....	3-4
3.3.3	ユーティリティメニュー .....	3-5
3.3.4	Make Disk メニュー .....	3-6
3.3.5	コンタクトインフォメーション .....	3-7

## Chapter 4: マザーボード情報

4.1	マザーボードの概要 .....	4-2
4.2	マザーボードのレイアウト .....	4-2
4.3	ジャンパ .....	4-3
4.4	コネクタ .....	4-5

## Chapter 5: BIOS セットアップ

5.1	BIOS 管理更新 .....	5-2
5.1.1	ASUS CrashFree BIOS 2 .....	5-2
5.1.2	ASUS Update .....	5-3
5.2	BIOS 設定プログラム .....	5-6
5.2.1	BIOSメニュー画面 .....	5-7
5.2.2	メニューバー .....	5-7
5.2.3	ナビゲーションキー .....	5-7
5.2.4	メニュー .....	5-8
5.2.5	サブメニュー .....	5-8
5.2.6	構成フィールド .....	5-8
5.2.7	ポップアップウィンドウ .....	5-8
5.2.8	スクロールバー .....	5-8
5.2.9	ヘルプ .....	5-8
5.3	メインメニュー .....	5-9
5.3.1	System Time .....	5-9
5.3.2	System Date .....	5-9
5.3.3	Primary IDE Master/Slave .....	5-10
5.3.4	Serial-ATA 1, Serial-ATA 2, Serial-ATA 3 .....	5-11
5.3.5	IDE Configuration .....	5-13

# もくじ

5.3.6	システム情報 .....	5-14
5.4	拡張メニュー .....	5-15
5.4.1	AMD Cool'n'Quiet Configuration .....	5-15
5.4.2	USB 設定 .....	5-16
5.4.3	CPU の設定 .....	5-17
5.4.4	チップセット .....	5-17
5.4.5	オンボードデバイス設定構成 .....	5-22
5.4.6	PCI PnP .....	5-23
5.5	電源メニュー .....	5-24
5.5.1	Suspend Mode .....	5-24
5.5.2	ACPI APIC Support .....	5-24
5.5.3	Restore on AC Power Loss by IO .....	5-24
5.5.4	APM の設定 .....	5-25
5.5.5	ハードウェアモニター .....	5-26
5.6	ブートメニュー .....	5-27
5.6.1	ブートデバイスの優先順位 .....	5-27
5.6.2	起動設定 .....	5-28
5.6.3	セキュリティ .....	5-29
5.7	終了メニュー .....	5-31

## 参考

システムがサポートしている電源装置の規格 .....	A-2
----------------------------	-----

## ご注意

### Federal Communications Commission Statement (原文)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.



---

**WARNING!** The use of shielded cables for connection of the monitor to the graphics card is required to assure compliance with FCC regulations. Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

---

### Canadian Department of Communications Statement (原文)

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

**This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.**

## 安全上のご注意

### 電気の取り扱い

- 作業を行う場合は、感電防止のため、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- 本製品に周辺機器を接続する場合は、本製品および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。可能ならば、関係するすべての機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源装置の修理は販売代理店などに依頼してください。

### 操作上の注意

- 作業を行う前に、本製品に付属のマニュアルを全て熟読してください。
- 電源を入れる前に、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また電源コードに損傷がないことを確認してください。何らかの損傷が見つかった場合は、販売代理店にご連絡ください。
- マザーボード上にクリップやネジなどの金属を落とさないようにしてください。回路のショート等の原因になります。
- 埃・湿気・高温・低温を避けてください。湿気のある場所で本製品を使用しないでください。本製品は安定した場所に設置してください。
- 本製品を修理する場合は、販売代理店などに依頼してください。

#### リチウムイオンバッテリー

**CAUTION:** Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions.

**VORSICHT:** Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers.

#### レーザー製品

### クラス 1 レーザー製品

# このマニュアルについて

## 対象読者

本書は、本製品に関する全般情報と取り付け方法を説明しています。なお、本書は上級ユーザーを対象にしています。

## マニュアルの概要

本章は以下の章から構成されています。

### 1. Chapter 1: システムの概要

本製品の概要。フロントパネルとリアパネル、および内部コンポーネントなどの、システムの各機能を紹介。

### 2. Chapter 2: 基本取り付け

システムのコンポーネントの取り付け方法について。

### 3. Chapter 3: 起動

システムの電源をオンにする方法、サポートCDからドライバやユーティリティをインストールする方法について。

### 4. Chapter 4: マザーボード情報

付属のマザーボードについての情報と、マザーボードのレイアウト、ジャンパ設定、コネクタの位置などの説明。

### 5. Chapter 5: BIOS のセットアップ

BIOSセットアップメニューでのシステム設定、変更方法、BIOSパラメータの説明。

### 6. 参考

本製品がサポートしている電源装置の規格について。



## このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱い頂くために以下の表記を参考にしてください。



危険/警告: 本製品を取り扱う上で、人体への危険を避けるための情報です。



注意: 本製品を取り扱う上で、コンポーネントへの損害を避けるための情報です。



重要: 本製品を取り扱う上で、必要な指示です。



注記: 本製品を取り扱う上でのヒントと追加情報です。

## 詳細情報

本書に記載できなかった最新の情報は以下で入手することができます。また、BIOSや添付ソフトウェアの最新版があります。必要に応じてご利用ください。

### 1. ASUS Webサイト (<http://www.asus.co.jp/>)

各国や地域に対応したサイトを設け、ASUSのハードウェア・ソフトウェア製品に関する最新情報が満載です。

### 2. 追加ドキュメント

パッケージ内容によっては、追加のドキュメントが同梱されている場合があります。注意事項や購入店・販売店などが追加した最新情報などです。これらは、本書がサポートする範囲には含まれていません。

# パッケージの内容

T3-M2NC51PV に以下のものが揃っていることを確認してください。

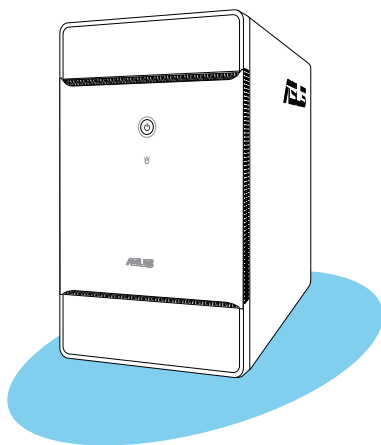


付属品が足りないときや破損しているときは、販売店にご連絡ください。

パッケージの内容	
1. ASUS T3-M2NC51PV ベアボーンシステム	
• ASUS マザーボード	• USB 2.0 ポート× 6
• 250 W PFC 電源	• IEEE 1394a ポート× 2
• Gigabit LAN ポート	• LED パネル
• CPU ファンとヒートシンク	• 7 インチ ストレージカードリーダー
• 5.25インチドライブベイ× 1	• 3.5インチハードディスクドライブベイ× 2
2. ケーブル	
• AC 電源ケーブル	
• IDE ケーブル	
• Serial ATA ケーブル	
• Serial ATA 電源ケーブル	
3. サポート CD	
4. クイック取り付けガイド	

# Chapter 1

本製品の概要。フロントパネルとリア  
パネル、および内部コンポーネント  
などの、システムの各機能を紹介



システムの概要

## 1.1 ようこそ

ASUS T3-M2NC51PVをお買い上げいただき、ありがとうございます。

ASUS T3-M2NC51PV は、パワフルで扱いやすいオールインワンベアボーンシステムです。

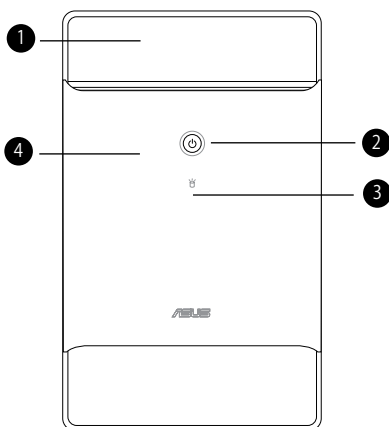
本製品は、スタイリッシュなミニタワーケースに、AMD Athlon™ 64 X2/AMD Athlon™ 64/AMD Athlon™ 64 FX/AMD Sempron™ プロセッサをサポートする AMD ソケット AM2 搭載のASUS マザーボードを装備しています。



DDR2-800/667/533 メモリに対応し、最大 2GB のシステムメモリを取り付けることができます。各種オーディオ機能、接続の拡張性、Gigabit LAN 機能の採用により、T3-M2NC51PV は多様化するユーザーのニーズに応えます。

これらの優れた設計により、T3-M2NC51PV は多様なマルチメディアとコンピュータニーズに革新的技術を提供します。

## 1.2 フロントパネル(外部)

フロントパネルにはシステム及びオーディオコントロールボタン、LED、LEDパネルが組み込まれています。

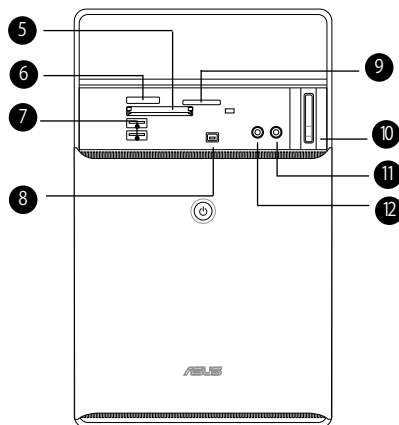


1. **ドライブドア:** 光学ドライブ用です。
2. **電源ボタン** : このボタンを押すと、システムの電源がオンになります。
3. **HDD LED** : このLED はハードディスクドライブからのデータの読み込み/書き込み中に点灯します。
4. **フロントパネル I/O ドア:** 入力/出力ポート用のカバーです。開く際は、このドアを押し下げます。

## 1.3 フロントパネル(内部)

フロントパネルドアの内側には、各ストレージカードリーダースロット、各 I/O ポートが組み込まれています。

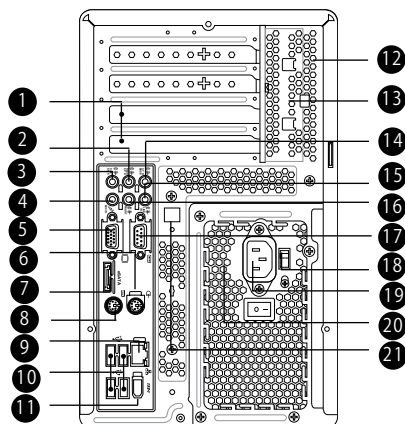
フロントパネルドアを開くには、指で下に押し下げます。












5. **CompactFlash®/Microdrive™カードスロット** ◆: CompactFlash®/Microdrive™ ストレージカード用です。
6. **Memory Stick®/Memory Stick Pro™ カードスロット**: Memory Stick®/Memory Stick Pro™ ストレージカード用です。
7. **USB 2.0 ポート** ⇄ **2.0**: マウス、プリンタ、スキャナー、カメラ、PDA等の USB 2.0 対応デバイスを接続することができます。
8. **4 ピン IEEE 1394a ポート** 1394: IEEE 1394a 対応オーディオ/ビデオデバイス、記憶装置、その他のPC デバイス用で、高速接続を実現します。
9. **Secure Digital™/MultimediaCard スロット** SD: Secure Digital™/MultimediaCard ストレージカード用です。
10. **イジェクトボタン**: このボタンを押すと、光学ドライブのトレイが開きます。
11. **マイクポート** 🎤: マイクを接続します。
12. **ヘッドフォンポート** 🎧: ヘッドフォンを接続します。

## 1.4 リアパネル

リアパネルには、各デバイスの接続に便利な電源コネクタ、各 I/O ポートが組み込まれています。

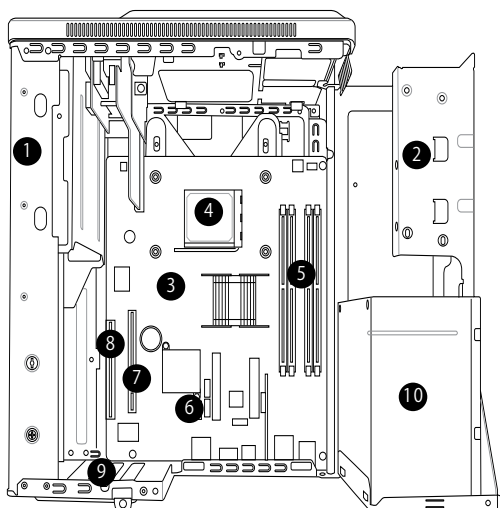


1. 拡張スロット: 拡張カードを取り付けます。
2. リアサラウンドスピーカーポート: HD 6 チャンネルスピーカーを接続します。
3. サイドサラウンドスピーカーポート: HD 6 チャンネルスピーカーを接続します。
4. マイクポート (ピンク) : マイクを接続します。4/6チャンネルモードでは、このポートはLFE (Low Frequency Effect) 出力、センター/サブウーファとなります。
5. DVI 出力ポート: DVI-D カードを接続します。
6. PS/2 マウスポート (グリーン) : この 6 ピンコネクタは PS/2 マウス用です。
7. 外部 SATA ポート: SATA ハードディスクドライブを接続します。
8. PS/2 キーボードポート (パープル) : この 6 ピンコネクタは、PS/2 キーボード用です。
9. LAN (RJ-45) ポート : ネットワークハブを介し、LAN に Gigabit 接続することができます。
10. USB 2.0 ポート  2.0: マウス、プリンタ、スキャナー、カメラ、PDA等の USB 2.0 対応デバイスを接続することができます。
11. 6ピン IEEE 1394a ポート : IEEE 1394a 対応オーディオ/ビデオデバイス、記憶装置、その他のPC デバイス用で、高速接続を実現します。

12. **通気孔:**システムケース内部の冷却ファン用の通気孔です。
13. **拡張カードロック:**取り付けた拡張カードを固定します。詳細はページ 2-15 をご参照ください。
14. **センタ & ウーファスピーカー:**HD 6 チャンネルスピーカーを接続します。
15. **ライン入力ポート(ライトブルー)** : テーププレーヤーや他のオーディオソースを接続します。6 チャンネルモードではこのポートはサラウンド出力になります。
16. **ライン出力ポート(ライム)** : ヘッドフォンやスピーカーを接続します。4/6 チャンネルモードでは、このポートはフロントスピーカー出力になります。
17. **VGAポート** : VGA モニタを接続します。
18. **電圧セクター:**お使いのエリアの供給電圧に応じ、システム入力電圧を調節することができます。
19. **電源コネクタ:**電源ケーブルを接続します。
20. **電源スイッチ:**PC の電源をオン/オフにします。
21. **S/PDIF 出力ポート:**5.1チャンネルサラウンドサウンドまたは、エンハンス 3D オーディオ用です。

## 1.5 内部コンポーネント

下の図は、トップカバーと電源装置を取り外した時の内部構造です。取り付けるコンポーネントには、参照用に番号を表示しました。追加システムコンポーネントの取り付けに関する詳細は、Chapter2 をご覧ください。

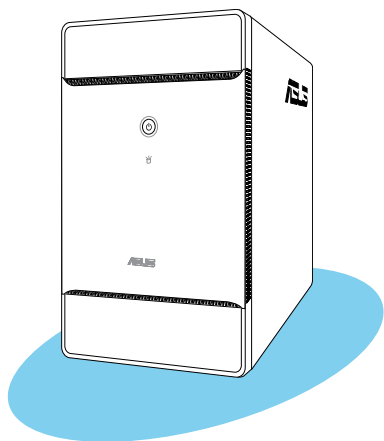


1. 5.25インチ光学ドライブ
2. ハードディスクドライブメタルトレイ
3. ASUS マザーボード
4. AMD® AM2 ソケット
5. メモリソケット
6. Serial ATAコネクタ
7. PCI Express™ x16 スロット
8. PCI スロット
9. 拡張カード スロット
10. 電源装置



# Chapter 2

システムのコンポーネントを取り付ける方法について



基本取り付け

## 2.1 準備

取り付ける前に、全てのコンポーネントが揃っているか確認してください。

### 取り付ける基本コンポーネント

1. CPU
2. DDR2 メモリ
3. 拡張カード
4. ハードディスクドライブ
5. 光学ドライブ

### 工具

Phillips スクリュードライバ

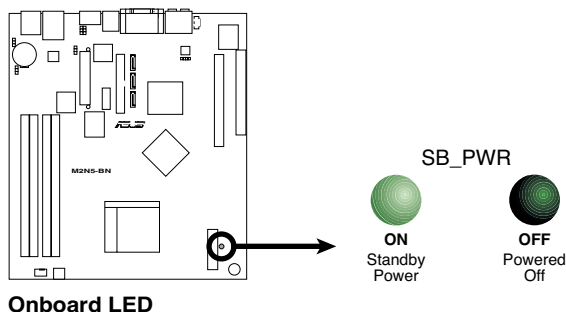
## 2.2 始める前に

コンポーネントをシステムに取り付ける前に次の事項に留意してください。



- ・ 静電気による損傷を防ぐために、各パーツを取り扱う前に、静電気除去装置に触れるなど、静電気対策をしてください。
- ・ ICに触れないように、各パーツは両手で端を持つようにしてください。
- ・ 各パーツを取り外すときは、必ず静電気防止パッドの上に置るか、コンポーネントに付属する袋に入れてください。

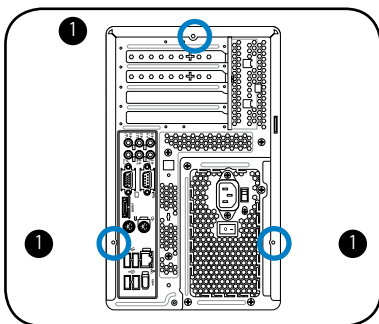
マザーボードには、スタンバイ LED が搭載されており、電力が供給されている間は緑のLEDが点灯します。マザーボードに各コンポーネントの取り付け・取り外しを行う際は、システムをOFFにし、電源ケーブルを抜いてください。下のイラストは、オンボード LED の場所を示しています。



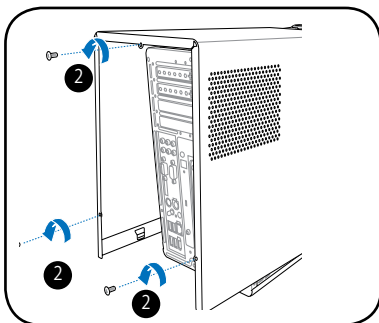
## 2.3 カバーを取り外す

### 手順

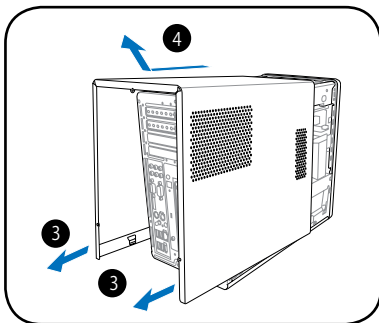
1. リアパネルで、カバーをケースに固定している3本のネジの位置を確認します。



2. Phillips スクリュードライバで、カバー用ネジを取り外します。ネジは大切に保管してください。



3. サイドタブがケースから外れるまでカバーをリアパネルの方向に慎重に引きます。
4. カバーを持ち上げシステムから外し、脇に置きます。

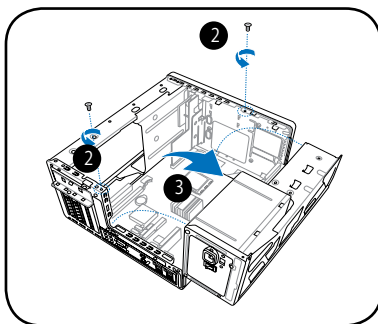


## 2.4 電源装置を移動する

CPU 及び他のシステムコンポーネントを取り付ける前に、電源装置を移動する必要があります。

手順

1. システムを図のようにデスクなどの安定した平面上に水平に慎重に倒します。
2. 電源装置をケースに固定している 2 本のネジを外します。
3. 矢印の方向に電源装置を 90° ほど持ち上げ移動します。



電源装置を移動する際は、落さないようしっかり手で支えてください。落とした場合、その衝撃によりシステムコンポーネントの破損の原因となることがあります。

## 2.5 CPUを取り付ける

マザーボードにはAMD Athlon™ 64/AMD Athlon™ 64 FX/AMD Athlon™ 64 X2、AMD Sempron™ の各プロセッサに対応の 940ピン AM2 ソケットが搭載されています。

### 2.5.1 CPU ファンとヒートシンクを取り外す

パッケージには、熱を効果的に下げパフォーマンスを維持するため、専用の CPU ファンとヒートシンクが予め取り付けられています。

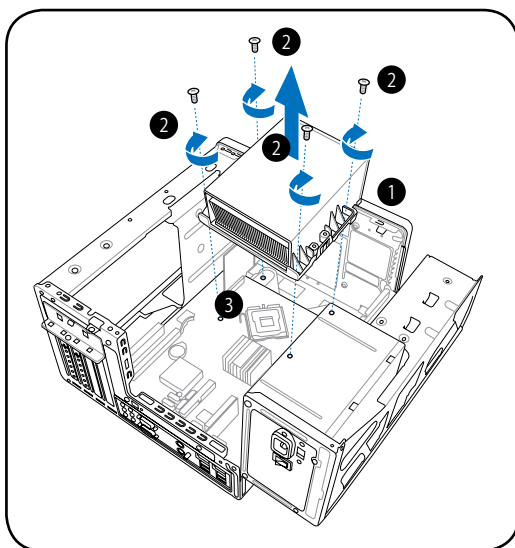


必ず専用の CPU ファンとヒートシンクをご使用ください。

CPUを取り付ける前に、CPU ファンとヒートシンクを取り外す必要があります。

手順

1. CPU ファンケーブルをマザーボードの CPU ファンコネクタから外します。
2. Phillips スクリュードライバでファンとヒートシンクをマザーボードに固定している 4 本のネジを外します。
3. ファンとヒートシンクを慎重に持ち上げ、脇に置きます。



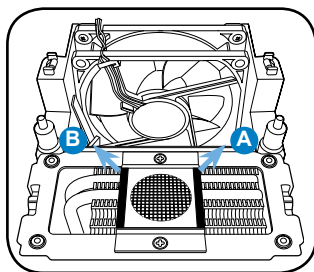
## 2.5.2 CPU を取り付ける



AM2 ソケットのピンレイアウトは、AMD Opteron™ プロセッサ用に設計された 940ピンソケットとは異なります。CPUを取り付ける前に、CPU が AM2 ソケットに対応していることを確認してください。また、CPU を取り付けることができるのは一方のみです。CPU をソケットを無理に押し込まないでください。ソケット上のコネクタとCPUの破損の原因となります。

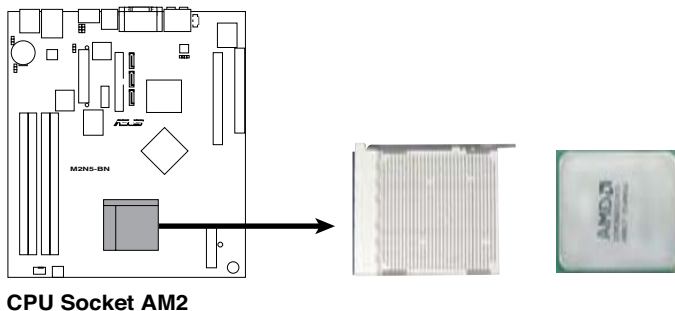


**重要：** CPU を取り付ける前に、クーラー/ファンの下に取り付けられたゴム (A と B) を取り外してください。



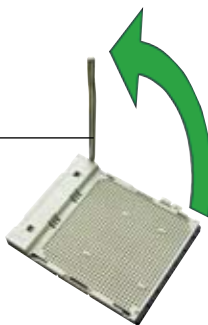
## CPUを取り付ける手順

1. マザーボード上の CPU ソケットの位置を確認します。



2. ソケットの脇にあるレバーを押し、  
90°～100°持ち上げてロックを解除し  
ます。

ソケットレバー



ソケットレバーを 90°～100° 持ち上げないと、CPU を取り付けることができません。

3. 金色の三角形がマークされている  
コーナーと小さな三角形がマークさ  
れているソケットの位置が合うよう、  
CPU をソケットの上に置きます。
4. 所定の位置にはまるまで、CPU を慎  
重にソケットに挿入します。

小さな三角形

金色の三角形





CPU を取り付けることができるのは一方向のみです。CPU をソケットを無理に押し込まないでください。ソケット上のコネクタとCPUの破損の原因となります。

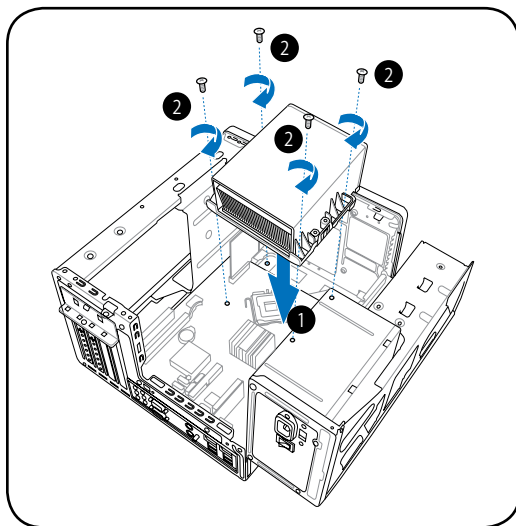
5. CPU を所定の位置に挿入したら、ソケットレバーを押し下げ、CPU をロックします。ロックされるとカチッという音がします。



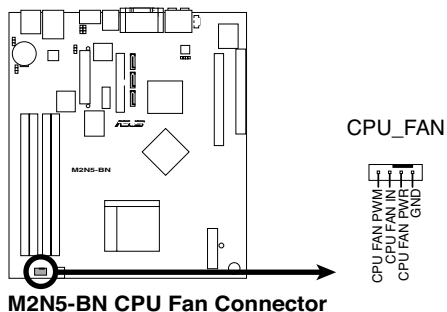
### 2.5.3 CPU ファンとヒートシンクを再び取り付ける

#### 手順

1. 取り付けたCPU上に CPU ファンとヒートシンクを置きます。
2. 取り外した 4 本のネジを CPU ファンのネジ穴に入れたらドライバで締め、ファンとヒートシンクをマザーボードに固定します。



3. CPU ファンケーブルをマザーボード上の CPU\_FANコネクタに接続します。

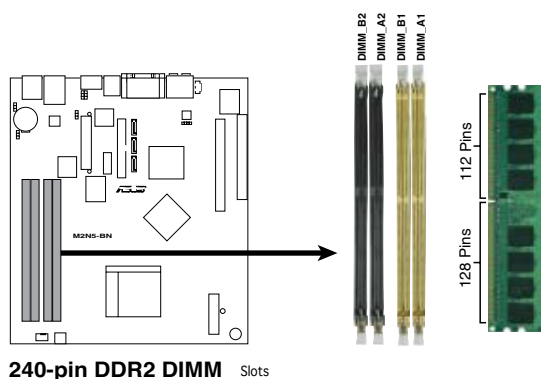


CPU ファンコネクタを必ず接続してください。ハードウェアモニターエラーが発生することがあります。

## 2.6 メモリを取り付ける

マザーボードには、DDR2 メモリスロットが2基実装されています。

次の図は、スロットの位置を示しています。





## 2.6.1 メモリ構成

256 MB、512 MB、1 GB DDR2 で、最大2 GB のシステムメモリを取り付けることができます。



- 本マニュアル推奨以外のメモリを構成を行った場合、メモリサイズのエラーまたはシステム起動エラーの原因となることがあります。メモリ構成の際は、下の表（推奨メモリ構成）に照らしてメモリ構成を行ってください。
- 同一の DDR2 メモリ（タイプとサイズが同じ）を DIMM\_A1 と DIMM\_B1 に取り付けてください。
- 同じ CAS レイテンシを持つメモリを取り付けてください。またメモリは同じベンダーからお求めになることをお勧めします。
- チップセットの割り当てにより、1 GB の DDR2 メモリを 2 枚取り付けても、検出されるメモリは 2 GB 未満です。
- 本マザーボードは128Mbのメモリチップ、またはダブルサイドで16個のメモリチップを搭載したメモリをサポートしません。

### 推奨メモリ構成

モード	スロット	
	DIMM_A1	DIMM_B1
シングルチャンネル	(1) 使用	—
	(2) —	使用
デュアルチャンネル	(3)* 使用	使用

\*同一の DDR2 メモリをペアとして使用。

メモリの QVL (推奨ベンダーリスト)  
DDR2 (533 MHz)

メモリサポート						
サイズ	ベンダー	モデル	ブランド	サイド*	コンポーネント	A B C
256MB	Kingston	KVR533D2N4/256	Elpida	SS	E5116AB-5C-E	. . .
256MB	Kingston	KVR533D2N4/256	Elpida	SS	E5116AF-5C-E	. . .
512MB	Kingston	KVR533D2N4/512	Hynix	DS	HY5PS56821F-C4	. . .
512MB	Kingston	KVR533D2N4/512	Infineon	SS	HYB18T512800AF3733336550	. . .
1G	Kingston	KVR533D2N4/1G	Kingston	DS	D6408TE7BL-37	. . .
1G	Kingston	KVR533D2N4/1G	Micron	DS	5YD11D9GCT	. . .
256MB	Samsung	M378T3253FG0-CD5	Samsung	SS	K4T56083QF-GCD5	. . .
512MB	Samsung	M378T6553BG0-CD5	Samsung	SS	K4T51083QB-GCD5	. . .
256MB	Infineon	HYS64T32000HU-3.7-A	Infineon	SS	HYB18T512160AF-3.7AFSS31270	. .
512MB	Infineon	HYS64T64000GU-3.7-A	Infineon	SS	HYB18T512800AC37SS511511	. . .
512MB	Infineon	HYS64T64000HU-3.7-A	Infineon	SS	HYB18T512800AF37FSS29334	. . .
512MB	Micron	MT 16HTF6464AG-53EB2	Micron	DS	D9BOM	. . .
1G	Micron	MT 16HTF12864AY-53EA1	Micron	DS	D9CRZ	. . .
512MB	Corsair	V5512MB533D2	Corsair	DS	MIII0052532M8CEC	. . .
512MB	Elpida	EBE51UD8ABFA-5C-E	Elpida	SS	E5108AB-5C-E	. . .
512MB	Kingmax	KLBC28F-A8KB4	Kingmax	SS	KKEA88B4IAK-37	. . .
256MB	Kingmax	KLBB68F-36EP4	Elpida	SS	E5116AB-5C-E	. . .
512MB	Kingmax	KLBC28F-A8EB4	Elpida	SS	E5108AE-5C-E	. . .

## メモリの QVL (推奨ベンダーリスト) DDR2 (667 MHz)

メモリサポート						
サイズ	ベンダー	モデル	ブランド	サイド*	コンポーネント	A B C
256MB	Kingston	KVR667D2N5/256	Elpida	SS	E2508AB-6E-E	• • •
512MB	Kingston	KVR667D2N5/512	Kingston	SS	D6408TE8WL-27	• • •
512MB	Kingston	KVR667D2E5/512	Elpida	SS	E5108AE-6E-E	• • •
1G	Kingston	KVR667D2N5/1G	Kingston	DS	D6408TE8WL-3	• • •
512MB	Samsung	KR M378T6553CZ0-CE6	Samsung	SS	K4T51083QC	• • •
512MB	Samsung	KR M378T6453FZ0-CE6	Samsung	DS	K4T56083QF-ZCE6	• • •
512MB	Samsung	M378T6553CZ3-CE6	Samsung	SS	K4T51083QC-ZCE6	• • •
1G	Samsung	M378T2953CZ3-CE6	Samsung	DS	K4T51083QC-ZCE6	• • •
1G	Samsung	KR M378T2953CZ0-CE6	Samsung	SS	K4T51083QC-ZCE6	• • •
256MB	Infineon	HYS64T32000HU-3S-A	Infineon	SS	HYB18T512160AF-3SSSS17310	• • •
512MB	Infineon	HYS64T32000HU-3S-A	Infineon	SS	HYB18T5128000AF-3SSSS27416	• • •
512MB	Infineon	HYS64T64000HU-3S-A	Infineon	SS	HYB18T512800AF3SFSS05346	• • •
1G	Infineon	HYS64T128020HU-3S-A	Infineon	DS	HYB18T512800AF3SSSS28104	• • •
512MB	Corsair	VS512MB667D2	Corsair	DS	MIII0052532M8CEC	• •
512MB	HY	HYMP564U64AP8-Y4 AA	Hynix	SS	HY5PS12821AFP-Y4	• • •
512MB	HY	HYMP564U64AP8-Y5 AA	Hynix	SS	HY5PS12821AFP-Y5	• • •
1G	HY	HYMP512U64AP8-Y5 AB	Hynix	DS	HY5PS12821AFP-Y5	• • •
512MB	HY	HYMP564U72AP8-Y5	Hynix	SS	HY5PS12821AFP-Y5	• • •
512MB	HY	HYMP564U72AP8-Y4	Hynix	SS	HYMP564U72AP8-Y4	• • •
1G	HY	HYMP564U72AP8-Y5	Hynix	DS	HY5PS12821AFP-Y5	• • •
512MB	Kingmax	KLCC28F-A8KB5	Kingmax	SS	KKEA88B4LAUG-29DX	• • •
1G	Kingmax	KLCD48F-A8KB5	Kingmax	DS	KKEA88B4LAUG-29DX	• • •
512MB	Apacer	78.91092.420	Elpida	SS	E5108AE-6E-E	• • •
512MB	Apacer	AU512E667C5KBGC	Apacer	SS	AM4B5708MIJ57E0627B	• • •
1G	Apacer	AU01GE667C5KBGC	Apacer	DS	AM4B5708MIJ57E0627B	• • •
512MB	ADATA	M20EL5G3H3160B1C0Z	Elpida	SS	E5108AE-6E-E	• •
512MB	VDATA	M2GVD5G3H31A411C52	VDATA	SS	VD29608A8A-3EC20615	• • •
512MB	VDATA	M2YVD5G3H31P411C52	VDATA	SS	VD29608A8A-3EG20627	• • •
1G	VDAT	M2GVD5G341P611C52	VDATA	DS	VD29608A8A-3EG20627	• • •
1G	VDATA	M2GVD5G341C411C52	VDATA	DS	VD29608A8A-3EC20620	• • •

## メモリの QVL (推奨ベンダーリスト) DDR2 (800 MHz)

						メモリサポート		
サイズ	ベンダー	モデル	ブランド	サイド*	コンポーネント	A	B	C
512MB	Kingston	KVR800D2N5/512	Samsung	SS	K4T51083QC-ZCE7	•	•	•
1G	Kingston	KVR800D2N5/1G	Samsung	DS	K4T51083QC-ZCE7	•	•	•
512MB	Kingston	KHX8500D2/512	Kingston	SS	Heat-Sink Package	•	•	•
1G	Kingston	KHX6400D2LL/1G	Kingston	DS	Heat-Sink Package	•	•	•
512MB	Samsung	KR M378T6553CZ3-CE7	Samsung	SS	K4T51083QC-ZCE7	•	•	•
1G	Samsung	KR M378T2953CZ3-CE7	Samsung	DS	K4T51083QC-ZCE7	•	•	•
512MB	Samsung	KR M391T6553CZ3-CE7	Samsung	SS	K4T51083QC-ZCE7	•	•	•
1G	Samsung	KR M391T6553CZ3-CE7	Samsung	DS	K4T51083QC-ZCE7	•	•	•
256MB	Infineon	HY564T32001HU-2.5-A	Infineon	SS	HYB18T256800AF25SS549313	•	•	•
512MB	Infineon	HY564T64020HU-2.5-A	Infineon	DS	HYB18T256800AF25SS525063	•	•	•
512MB	HY	HYMP564U64AP8-S6 AA	Hynix	SS	HY5PS12821AFP-S6	•	•	•
1G	HY	HYMP512U64AP8-S6 AA	Hynix	DS	HY5PS12821AFP-S6	•	•	•

サイド: SS - シングルサイド DS - ダブルサイド

- A - シングルチャンネルメモリ構成として、1 枚のモジュールを任意のスロットに取り付けることが可能。
- B - 1 組のデュアルチャンネルメモリ構成として、2 枚 1 組のメモリを ブルーのスロットまたはブラックのスロットに取り付けることが可能。

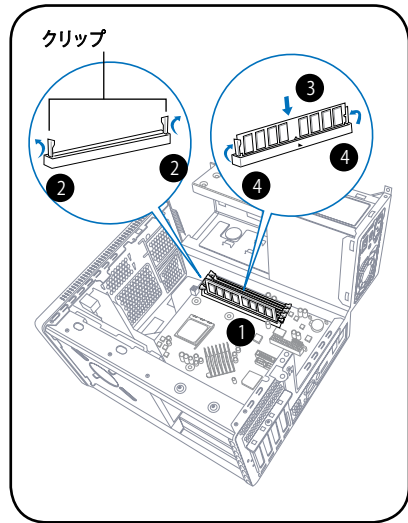


最新の DDR2-533/667/800 MHz QVL は、ASUS の Web サイト (<http://www.asus.co.jp/>) をご覧ください。

## 2.6.2 メモリを取り付ける

### 手順

1. メモリスロット (×2) の位置を確認します。
2. クリップを外側に押し、スロットのロックを解除します。
3. メモリのノッチがスロットの切れ目に一致するように、メモリをスロットに合わせます。
4. クリップが所定の場所に戻りメモリが正しく取り付けられるまで、メモリをスロットにしっかり押し込みます。



DDR 2メモリは取り付ける向きがあります。間違った向きでメモリを無理にスロットに差し込むと、メモリが損傷する原因となります。

## 2.7 拡張カードを取り付ける

拡張カードを取り付ける場合は、このセクションに書かれている拡張スロットに関する説明をお読みください。本マザーボードには PCI スロットと PCI Express™ x16 スロットが各 1 基搭載されています。

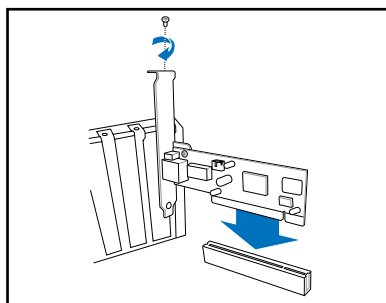


拡張カードを取り付ける前と取り外す前は、必ず電源コードを抜いてください。電源コードを接続したまま作業をすると、負傷やマザーボードコンポーネントの損傷の原因となる恐れがあります。

### 2.7.1 拡張スロット

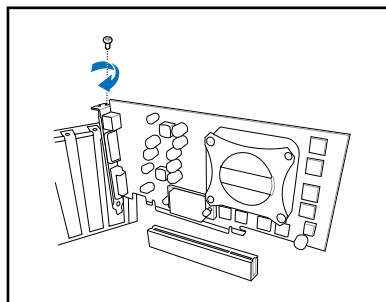
#### PCI スロット

PCI スロットは LAN カード、SCSI カード、USB カード等の PCI 規格準拠のカードをサポートしています。スロットの位置は下の写真をご参照ください。図は LAN カードを 1 枚取り付けたものです。



#### PCI Express™ x16 スロット

本マザーボードは PCI Express™ 規格準拠の PCI Express™ x16 ビデオカードをサポートしています。図はビデオカードを 1 枚取り付けたものです。

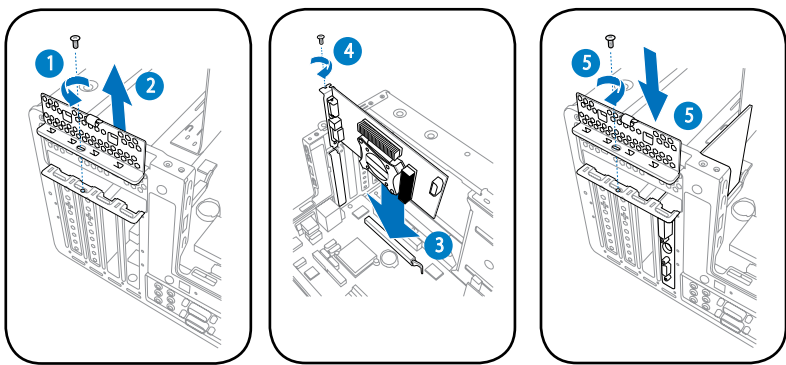


取り付け可能な PCI Express x 16 カードのサイズは、204.63mm × 108mm × 16mm 以下となっております。カードをご購入の際はご注意ください。

# 2.7.2 拡張カードを取り付ける

## 手順

1. 拡張カードを取り付ける前に、拡張カードに添付の製品マニュアル等を読み、カードに必要なハードウェアの設定を行ってください。
2. ブラケットロックネジを外します。
3. ブラケットロックを取り外します。
4. カードコネクタとスロットの位置を合わせ、しっかり押し込みます。
5. カードをネジ(×1)で固定します。
6. ブラケットロックを元に戻し、ネジ(×1)で固定します。



## 標準の割り込み割り当て

IRQ	標準機能
0	システムタイマー
1	キーボードコントローラ
2	プログラム可能 割り込み
4	通信ポート (COM1)
6	フロッピーディスクコントローラ
7*	プリンタポート (LPT1)
8	システム CMOS/リアルタイムクロック
9*	ACPI モード (BIOSで有効にした場合)
10*	PCI ステアリング用 IRQ ホルダ
11*	PCI ステアリング用 IRQ ホルダ
12*	PS/2 互換マウスポート
13	数値データプロセッサ
14*	プライマリIDEチャンネル

\* 上の IRQ は通常ISA デバイスまたは PCI デバイスで使用されています。

## 本マザーボード用IRQ 割り当て

	LNKA	LNEA	LNEB	LNEC	LSMB	LUB2	LSA0	LUB0	LMAC	LAZA	LATA
PCI スロット1	共有	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
PCIe x16 スロット	--	共有	--	--	--	--	--	--	--	--	--
オンボード E-SATA	--	--	共有	--	--	--	--	--	--	--	--
LAN コントローラ	--	--	--	--	--	--	--	--	共有	--	--
オンボード SMB コントローラ	--	--	--	--	共有	--	--	--	--	--	--
オンボード USB1.1 コントローラ	--	--	--	--	--	--	--	共有	--	--	--
オンボード USB2.0 コントローラ	--	--	--	--	--	共有	--	--	--	--	--
オンボード SATA0 コントローラ	--	--	--	--	--	--	共有	--	--	--	--
オンボード Azalia コントローラ	--	--	--	--	--	--	--	--	--	共有	--
オンボード IDE コントローラ	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	共有
内部 VGA	--	--	--	共有	--	--	--	--	--	--	--



PCI カードを共有スロットに挿入する際は、ドライバがIRQの共有をサポートすること、または、カードが IRQ 割り当てを必要としないことを確認してください。IRQ を要求する 2 つの PCI グループが対立し、システムが不安定になりカードが動作しなくなる場合があります。

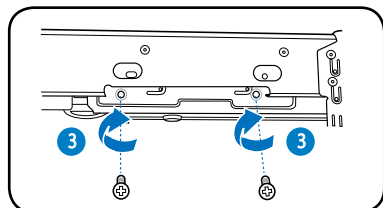
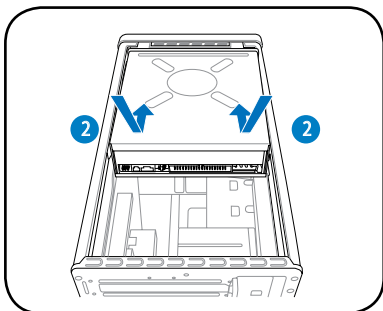


## 2.8 光学ドライブを取り付ける

システムには光学ドライブ用に 5.25 インチドライブベイが搭載されています。

### 手順

1. ケースを図のように置きます。
2. 光学ドライブを 5.25 インチドライブベイに挿入します。次にドライブのネジ穴とベイのネジ穴の位置が合うよう、ドライブをゆっくりベイに挿入してください。
3. 4本のネジをベイの両サイドに入れ、光学ドライブをベイに固定します。
4. IDE プラグと電源プラグをドライブ後部にあるコネクタに接続します。

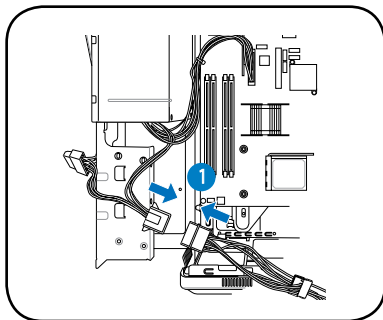


## 2.9 ハードディスクドライブ (HDD) を取り付ける

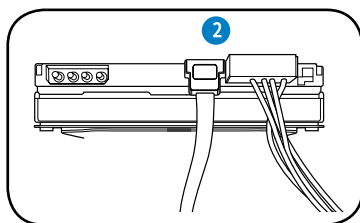
本システムは Serial ATA ハードディスクドライブを 1 台サポートしています。

### 手順

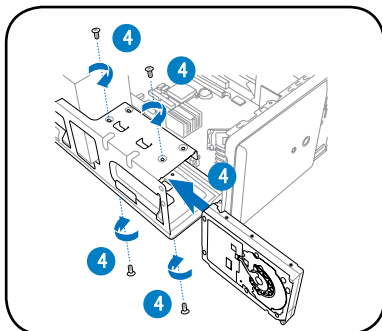
1. SATA 電源ケーブルを電源装置のプラグに接続します。



2. SATAケーブルと電源プラグをドライブ後部にあるコネクタに接続します。
3. HDDトレイの位置を確認します。



4. HDD PCB がケースの上面を向くよう、ハードディスクドライブをトレイに挿入し、4本のネジで固定します。



5. SATAケーブルをマザーボードのSATAコネクタに接続します。
6. プラスチックコイルでケーブルを全て束ねます。

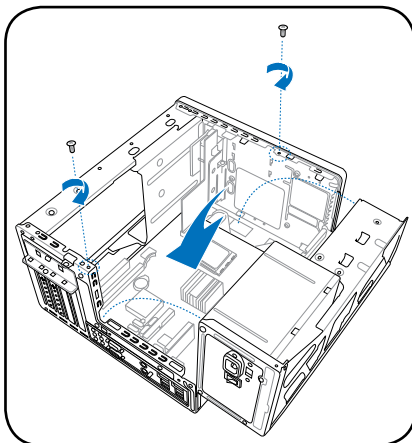


## 2.10 電源装置を再び取り付ける

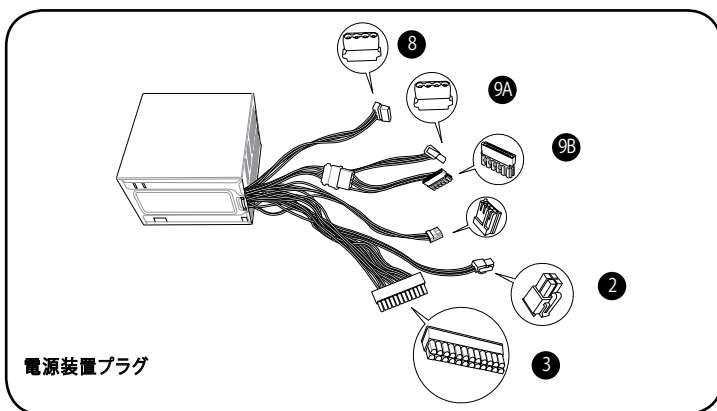
システムコンポーネントを取り付け各ケーブルを再び接続したら、電源装置を元に戻します。

手順

1. 電源装置を右図のように90°回転させ、ケースが開いた状態にします。
2. 4ピン12V電源プラグをマザーボードのATX12Vコネクタに接続します。
3. 24ピンATX電源プラグをマザーボードのATXPWRコネクタに接続します。
4. 光学ドライブ電源コネクタを接続します。
5. 電源装置を元の状態に戻します。
6. 2.4で外したネジで電源装置を固定します。



電源装置のケーブルはCPU/ケースファンと接触しないよう配線してください。



8. 4ピン電源プラグを光学ドライブの電源コネクタに接続します。
- 9A. 4ピン電源プラグで 4ピン電源プラグを IDE ハードディスクドライブまたは Serial ATA ハードディスクドライブの電源コネクタに接続します。

-あるいは-

- 9B. 4ピン電源プラグ非対応の Serial ATA ハードディスクドライブには、15ピン SATA 電源アダプタプラグをドライブ後部にある電源コネクタに接続します。次にプラグのもう一方（4ピン・オス）を電源装置側の4ピン（メス）電源プラグに接続します。



電源装置の規格については、巻末の「参考」をご参照ください。

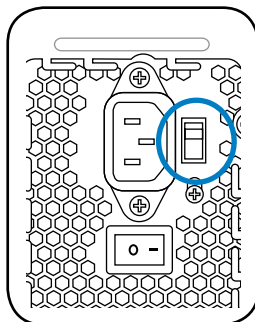
## 電圧セ렉ター

電源装置の電源コネクタの隣には 115 V/230 V 電圧セ렉タースイッチが付いています。お使いのエリアの電圧に応じ、システム入力電圧を選択してください。



注：電圧セ렉ターの初期設定値は 230 V です。

お使いのエリアの電圧が 100-127 V の場合は、115 V を選択します。200-240 V の場合は、230 V を選択します。

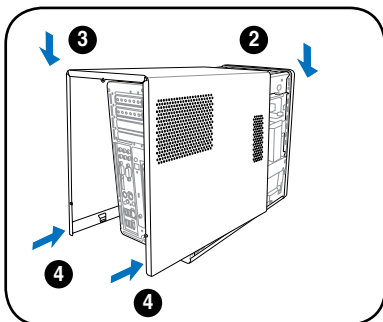


230 V のエリアで 115 V を選択すると、システムの故障の原因となります！

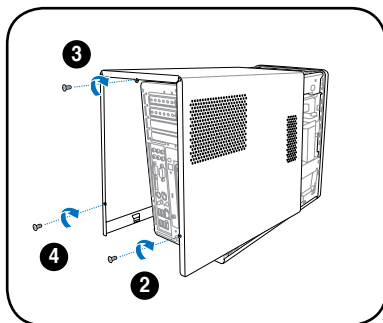
## 2.11 カバーを再び取り付ける

### 手順

1. 図のように、ケースを垂直に置きます。
2. カバー前部のエッジがフロントパネルカバーから5センチ以上離れるように被せます。カバータブをケースレールとフロントパネルタブにはめます(図参照)。
3. 図のように、カバーのエッジ前面を下げます。
4. カバーを所定の位置まで、フロントパネル方向に押します。



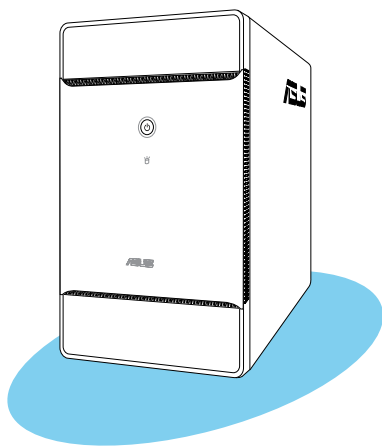
5. 外した3本のネジでカバーを固定します。





# Chapter 3

システムの電源をオンにする方法、  
サポートCDからドライバやユーティリティをインストールする方法について



起動

## 3.1 OSをインストールする

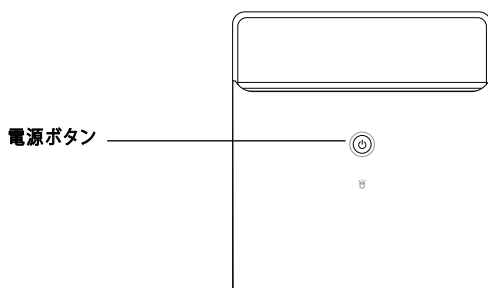
本ベアボーンシステムは、Windows® 2000/XP、Vista OSをサポートしています。ハードウェアの機能を最大に活用するために、OSを定期的にアップデートしてください。



ここで説明するセットアップ手順は一例です。詳細については、OSのマニュアルをご参照ください。

## 3.2 電源をオンにする

電源ボタンはフロントパネル上にあります。システム電源ボタン(⏻)を押すと、OSが起動します。



Windows® 環境では、⏻ボタンの動作はOSの設定により決定され、シャットダウン、再起動、スリープモード (S3) への切り替えなどを設定することができます。

## 3.3 サポート CD 情報

付属のサポート CD には、ソフトウェアや各種ユーティリティドライバが収録されています。

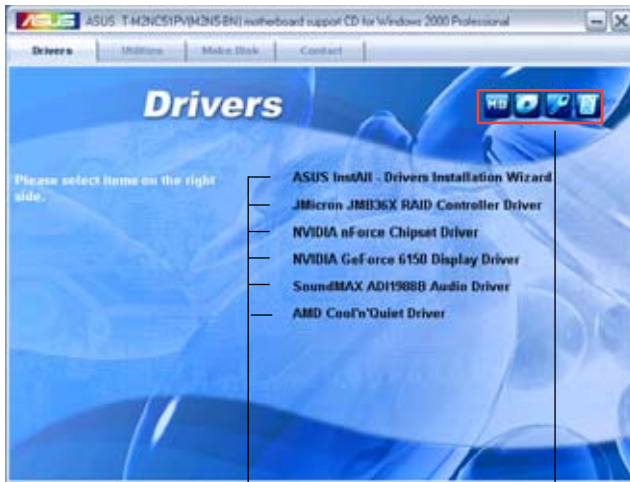


- 画面の表示内容及びドライバのオプションは、OS のバージョンにより異なる場合があります。
- サポートCDの内容は、将来予告なしに変更することがあります。更新版はASUS Webサイト ([www.asus.co.jp](http://www.asus.co.jp)) でお求めください。



### 3.3.1 サポートCDを実行する

サポートCDを光学ドライブに入れます。コンピュータでAutorun 機能が有効になっていれば、ドライバメニューが自動的に表示されます。



インストールする項目を選択

その他の情報を表示



Autorun が有効になっていない場合は、サポートCD の BIN フォルダから ASSETUP.EXE を探してください。ASSETUP.EXE をダブルクリックすれば、ドライバメニューが表示されます。

### 3.3.2 ドライバメニュー

ドライバメニューには、インストールが可能なドライバが表示されます。必要なドライバを上から順番にインストールしてご利用ください。



#### ASUS InstAll - Drivers Installation Wizard

ASUS InstAll でドライバをインストールします。

#### JMicron JMB36X RAID Controller Driver

JMicron® JMB36X RAID Controllerドライバをインストールします。

#### Nvidia nForce Chipset Driver Program

NVIDIA® nForce™ MCP 51 チップセット用の NVIDIA® チップセットドライバをインストールします。

#### Nvidia GeForce 6150 Display Driver

NVIDIA® GeForce 6150 ドライバをインストールします。

#### SoundMAX ADI1988B Audio Driver

SoundMAX® ADI1988B オーディオドライバとアプリケーションをインストールします。

#### AMD Cool 'n' Quiet Driver

AMD Cool 'n' Quiet™ テクノロジドライバをインストールします。

### 3.3.3 ユーティリティメニュー

マザーボードで利用できるアプリケーションやユーティリティをインストールします。



#### ASUS InstAll - Installation Wizard for Utilities

ASUS InstAll でユーティリティをインストールします。

#### ASUS PC Probe II

ファンスピードとCPU 温度、システム電圧を監視し、問題がある場合に警告します。このユーティリティを使えばコンピュータを常に正常な状態に維持することができます。

#### ASUS Update

Windows®環境で BIOS のアップデートが行えます。このユーティリティを使用するにはインターネット接続が必要です。(詳細: ページ 5-4 参照)

#### Adobe Acrobat Reader V7.0

PDF (Portable Document Format) ファイルの閲覧、プリントができるAdobe® Acrobat® Reader V7.0 をインストールします。

## Microsoft DirectX 9.0c

Microsoft® DirectX 9.0 cドライバをインストールします。Microsoft DirectX® 9.0 c は、コンピュータのグラフィックスとサウンドを拡張するマルチメディアテクノロジーです。DirectX®はコンピュータのマルチメディア機能を向上させるので、TVや映画、ビデオキャプチャ、ゲームをよりお楽しみいただけます。



このアプリケーションは、Windows® XP Service Pack 2 に組み込まれています。Windows® XP Service Pack 2 をインストールしてある場合は、Microsoft® DirectX® 9.0c のインストールは不要です。

## ASUS Cool'n'Quiet Utility

ASUS Cool'n'Quiet ユーティリティを起動します。

## Anti-Virus Utility

コンピュータウイルスからパソコンを守ります。詳細はオンラインヘルプをご参照ください。

## 3.3.4 Make Disk メニュー

JMicon® JMB363 SATA/PATA RAID ドライバディスクを作成します。



## NVIDIA 32bit Win2K SATA RAID Driver

32bit Windows 2000 システム用の NVIDIA® Serial ATA RAID ドライバディスクを作成します。

## NVIDIA 32bit WinXP SATA RAID Driver

32bit Windows XP システム用の NVIDIA® Serial ATA RAID ドライバを作成します。

## NVIDIA 64bit SATA RAID Driver

64bit システム用の NVIDIA® Serial ATA RAID ドライバを作成します。

## JMicron JMB36X 32/64bit Driver

32/64bit システム用の JMicron® ドライバを作成します。

### 3.3.5 コンタクトインフォメーション

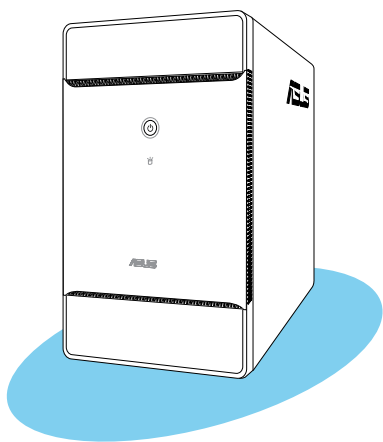
ASUS コンタクトインフォメーションが表示されます。





# Chapter 4

付属のマザーボードについての情報と、マザーボードのレイアウト、ジャンパ設定、コネクタの位置などの説明

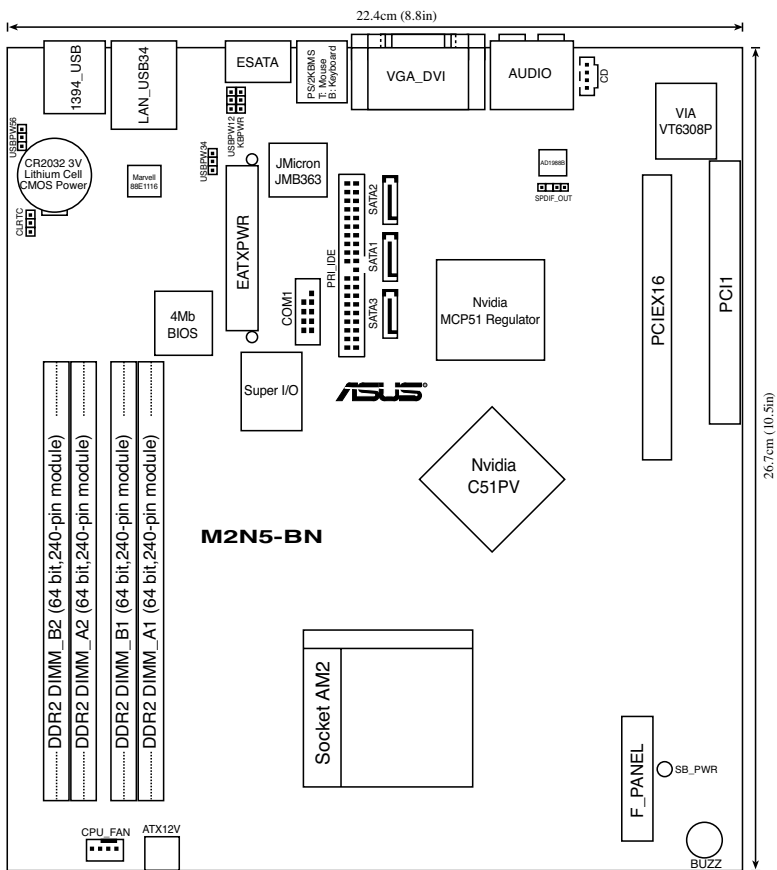


マザーボード情報

## 4.1 マザーボードの概要

T3-M2NC51PV システムには ASUS マザーボード M2N5-BN が実装されています。ここでは、技術的な情報やシステム構成について説明します。

## 4.2 マザーボードのレイアウト





## 4.3 ジャンパ

### 1. RTC RAMのクリア (CLRRTC)

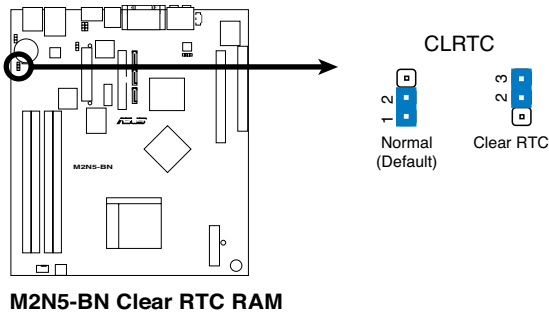
このジャンパは、CMOSのリアルタイムクロック (RTC) RAMをクリアするものです。CMOS RTC RAMのデータを消去することにより、日、時、およびシステム設定パラメータをクリアできます。システムパスワードなどのシステム情報を含むCMOS RAMデータの維持は、マザーボード上のボタン電池により行われています。

RTC RAMをクリアする手順

1. コンピュータの電源をオフにし電源コードをコンセントから抜きます。
2. マザーボード上のボタン電池を取り外します。
3. ジャンパキャップをピン 1-2 (初期設定) からピン 2-3 に移動させます。5~10秒間そのままにして、再びピン1-2にキャップを戻します。
4. 電池を取り付けます。
5. 電源コードを差し込み、コンピュータの電源をオンにします。
6. 起動プロセスの間<Del>キーを押し、BIOS設定に入ったらデータを再入力します。



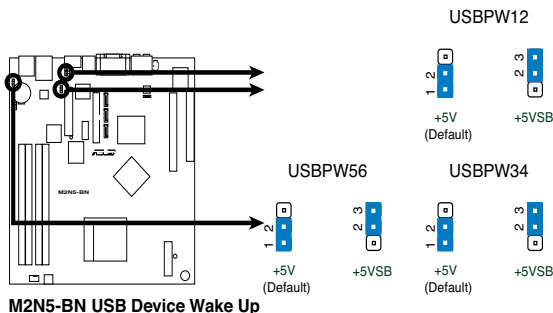
RTC RAM をクリアしている場合を除き、CLRRTCジャンパのキャップは取り外さないでください。システムの起動エラーの原因となります。



## 2. USB デバイスウェイクアップ (3ピン USBPW123456)

USB デバイスを利用して、S1 スリープモード (CPU 停止、DRAM リフレッシュ、低電力モードでのシステム稼働) からウェイクアップするには、+5V に設定します。S3 と S4 スリープモード (CPU への電源供給がゼロの状態、スローリフレッシュ状態の DRAM、電力削減モード) からウェイクアップするには、+5VSB に設定します。

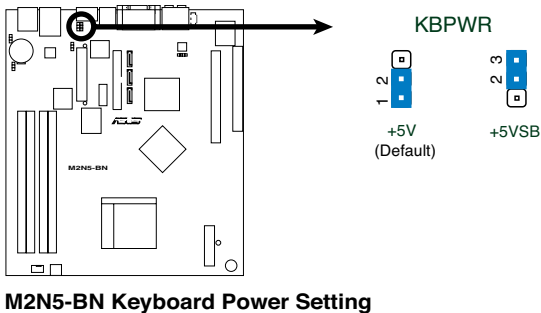
USBPW1234 ジャンパはリア USB ポート用です。USBPW5678 ジャンパは追加 USB ポートを接続する内部 USB コネクタ用です。



- USB デバイスウェイクアップ機能には、各 USB ポート用の +5VSB リード線に 500mA の電流供給ができる電源装置が必要です。それ以外ではシステムはウェイクアップしません。
- 総消費電流は、通常の条件でもスリープモードでも、電源装置の能力 (+5VSB) を超過してはいけません。

## 3. キーボード電源 (3ピン KBPWR)

このジャンパはキーボードウェイクアップ機能の切り替え用のジャンパです。キーボードのキーを押してコンピュータをウェイクアップさせる場合は (初期設定はスペースバー)、このジャンパをピン 2-3 (+5VSB) にします。この機能には +5VSB リード線に最低 500 mA 供給可能な ATX 電源と BIOS 設定が必要です。

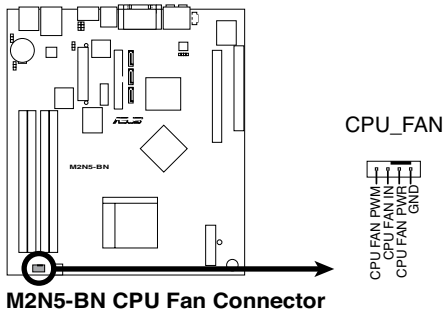


## 4.4 コネクタ

ここではマザーボード上の各コネクタについて説明します。

### 1. CPU ファンコネクタ (4ピン CPU\_FAN)

ファンコネクタは、専用のCPU ファンをサポートしています。ファンケーブルをマザーボード上のファンコネクタに接続します。ケーブルの黒いワイヤがマザーボードのコネクタのアースピンに合うよう接続してください。



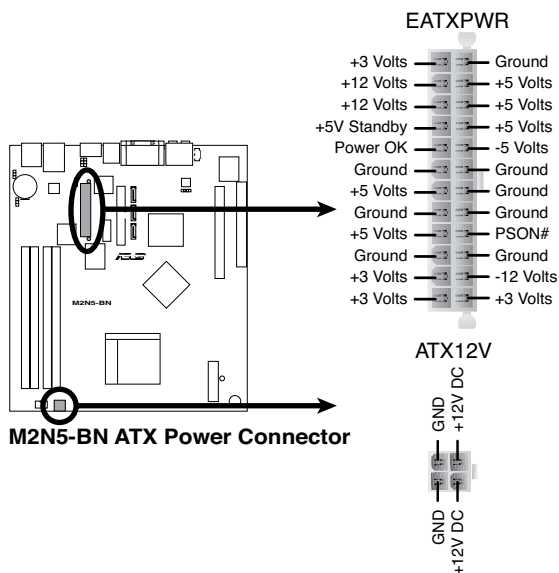
ケース内に十分な空気の流れがないと、マザーボードコンポーネントが破損する恐れがあります。組み立ての際にはシステムの冷却ファン(吸/排気ファン)を必ず搭載してください。また、吸/排気ファンの電源をマザーボードから取得することで、エアフローをマザーボード側で効果的にコントロールすることができます。また、これはジャンパピンではありません。ファンコネクタにジャンパキャップを取り付けしないでください。

## 2. ATX 電源コネクタ (24ピン EATXPWR、4ピン ATX12V)

ATX電源プラグ用のコネクタです。電源プラグは正しい向きでのみ、取り付けられるように設計されています。正しい向きでしっかりと挿し込んでください。

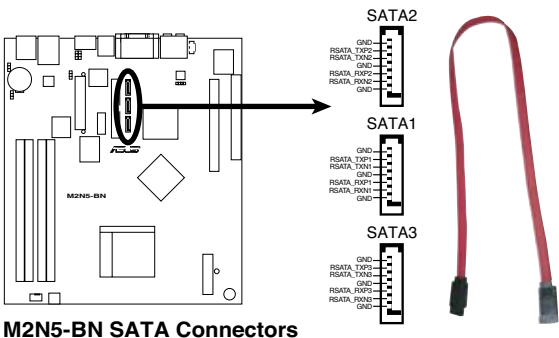


4ピン ATX12V 電源プラグをマザーボードのATX12V コネクタに必ず接続してください。接続しないとシステムが起動しません。



### 3. Serial ATA コネクタ (7ピン SATA1、SATA2、SATA3)

これらコネクタは Serial ATA ケーブル用で、Serial ATA ハードディスクドライブに使用します。



M2N5-BN SATA Connectors



これらコネクタを Standard IDE モードで使用する場合は、プライマリ (ブート用) ハードディスクドライブを SATA1/2 コネクタに接続します。推奨する SATA ハードディスクドライブ構成については、下の表をご参照ください。

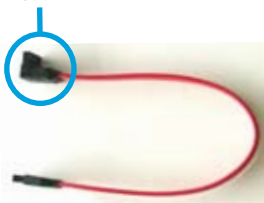
### Serial ATA ハードディスクドライブ接続

コネクタ	カラー	設定	用途
SATA1	ブラック	マスター	起動ディスク
SATA2/3	ブラック	スレイブ	データディスク



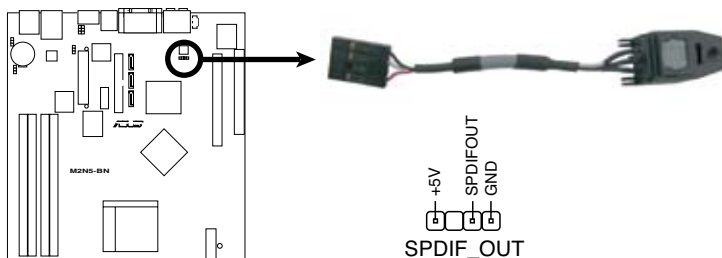
SATAケーブルの直角部分をSATAデバイスに接続します。あるいは、オンボード SATA ポートに接続してビデオカードとの衝突を避けることもできます。

直角部分



#### 4. デジタルオーディオコネクタ (4-1ピン SPDIF\_OUT)

このコネクタは追加のS/PDIFポート用で、S/PDIF 出力ケーブルをこのコネクタに接続します。



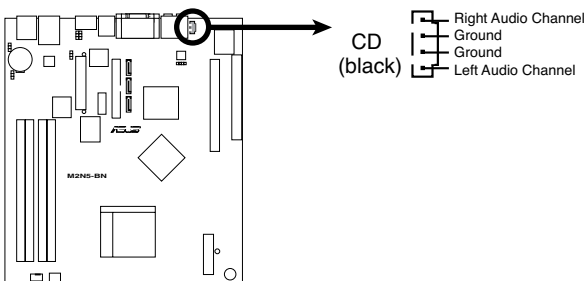
**M2N5-BN Digital Audio Connector**



S/PDIF モジュールは別売りとなっております。

#### 5. 光学ドライブオーディオコネクタ (4ピン CD)

CD-ROM、TV チューナー、MPEG カード等のサウンドソースからステレオオーディオ入力を受信します。



**M2N5-BN Internal Audio Connector**

# Chapter 5

BIOSセットアップメニューでのシステム  
設定、変更方法、BIOSパラメータの説明



BIOS セットアップ

## 5.1 BIOS 管理更新

次のユーティリティを使って、マザーボードのベーシックインプット/アウトプットシステム (BIOS) の管理更新を行います。

1. **ASUS CrashFree BIOS 2** (BIOS がダメージを受けた場合、ブートフロッピーディスク/サポート CD を使用して BIOS を更新)
2. **ASUS Update** (Windows® 環境で BIOS を更新)

各ユーティリティ詳細は関連項目をご参照ください。



BIOS を復旧できるように、オリジナルのマザーボード BIOS ファイルをブートフロッピーディスク/ USB フラッシュディスクにコピーしてください。BIOS のコピーには ASUS Update または AFUDOS を使用します。

### 5.1.1 ASUS CrashFree BIOS 2

ASUS CrashFree BIOS 2 は BIOS の自動復旧ツールで、BIOS 更新時に障害を起こした場合や破損した BIOS ファイルを復旧します。破損した BIOS ファイルはサポート DVD、または BIOS ファイルを保存したフロッピーディスク/サポート CD で更新することができます。



このユーティリティを使用する前に、サポート CD または BIOS を保存したフロッピーディスクをお手元にご用意ください。

### サポート CD から BIOS を復旧する

#### 手順

1. システムの電源をオンにします。
2. サポート CD を光学ドライブに挿入します。
3. 下のメッセージが表示され、CD の BIOS ファイルが自動的にチェックされます。

```
Bad BIOS checksum. Starting BIOS recovery...  
Checking for floppy...
```

BIOS が検出されると、BIOS ファイルを自動的に読み込み、破損した BIOS ファイルを更新します。



```
Bad BIOS checksum. Starting BIOS recovery...
Checking for floppy...
Floppy not found!
Checking for CD-ROM...
CD-ROM found!
Reading file "M2N5-BN.ROM". Completed.
Start flashing...
```



BIOS を更新している間に、システムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システムの起動エラーの原因となります。

4. 更新作業が完了したらシステムを再起動させてください。



最新の BIOS は ASUS Web サイト ([www.asus.co.jp](http://www.asus.co.jp)) からダウンロードしてください。

## 5.1.2 ASUS Update

ASUS Update は、Windows® 環境でマザーボードの BIOS を管理、保存、更新するユーティリティです。以下の機能を実行することができます。

- ・ マザーボードの BIOS ファイルを保存する
- ・ インターネットから最新の BIOS ファイルをダウンロードする
- ・ 最新の BIOS ファイルに BIOS を更新する
- ・ インターネットから直接 BIOS を更新する
- ・ BIOS のバージョン情報を表示する

このユーティリティはマザーボードに付属しているサポート CD からインストールします。



ASUS Update でインターネットを使用した機能を使用するためには、インターネット接続が必要です。

## ASUS Update をインストールする

手順

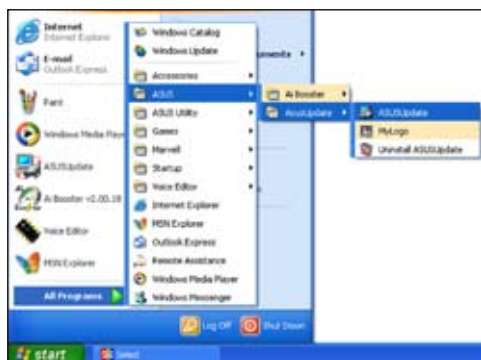
1. 光学ドライブにサポート CD をセットします。ドライバメニューが表示されます。
2. **Utilities** タブをクリックし、「**Install ASUS Update VX.XX.XX**」をクリックします。詳細はページ 3-5 をご参照ください。
3. ASUS Update ユーティリティがシステムにインストールされます。



このユーティリティを使用して BIOS を更新する場合は、すべての Windows® アプリケーションを終了してください。

## インターネットを通してBIOSを更新する 手順

1. 「スタートメニュー」→「プログラム」→「ASUS」→「ASUSUpdate」→「ASUSUpdate」をクリックします。ASUS Update ユーティリティを起動すると、ASUS Update メインウィンドウが表示されます。



2. ドロップダウンメニューから、「Update BIOS from the internet」を選択し、「Next」をクリックします。
3. 最寄りの ASUS FTP サイトを選択するか、「Auto Select」をクリックし、「Next」をクリックします。

4. ダウンロードしたい BIOS バージョンを選択し、「Next」をクリックします。
5. 画面の指示に従って、更新プロセスを完了します。



ASUS Update ユーティリティはインターネットから最新版に更新することができます。すべての機能を利用できるように、常に最新版をご使用ください。



## BIOSファイルからBIOSを更新する

### 手順

1. 「スタートメニュー」→「プログラム」→「ASUS」→「ASUSUpdate」→「ASUSUpdate」をクリックします。ASUS Update ユーティリティを起動すると、ASUS Update メインウィンドウが表示されます。
2. ドロップダウンメニューから「Update BIOS from a file」を選択し、「Next」をクリックします。



3. OpenダイアログからBIOSファイルを探し、「Open」をクリックします。
4. 画面の指示に従い、更新プロセスを完了します。



## 5.2 BIOS 設定プログラム

本マザーボードはプログラム可能な Low-Pin Count (LPC) チップを搭載しており、「5.1 BIOS 管理更新」で説明した付属ユーティリティを使用してBIOSの更新を行うことが可能です。

BIOS 設定プログラムは、マザーボードを取り付けた時や、システムの再構成をした時、または“Run Setup”を促された時に使用します。本項では、この機能を使用してコンピュータの設定をする方法を説明します。

BIOS 設定プログラムを使用するように指示されていない場合でも、コンピュータの設定を変更することができます。例えば、セキュリティパスワード機能を有効にする、または、電源管理設定を変更することができます。これらの設定を変更するためには、コンピュータがこれらの変更を認識し、LPC チップのCMOS RAMに記録できるように、BIOS設定プログラムを使用してコンピュータの設定を変更する必要があります。

マザーボードのLPCチップにはBIOS設定プログラムが搭載されています。BIOS 設定プログラムはコンピュータを起動するときに実行することができます。起動時の自己診断テスト (POST) の間に<Del>キーを押すとBIOS 設定プログラムが起動します。

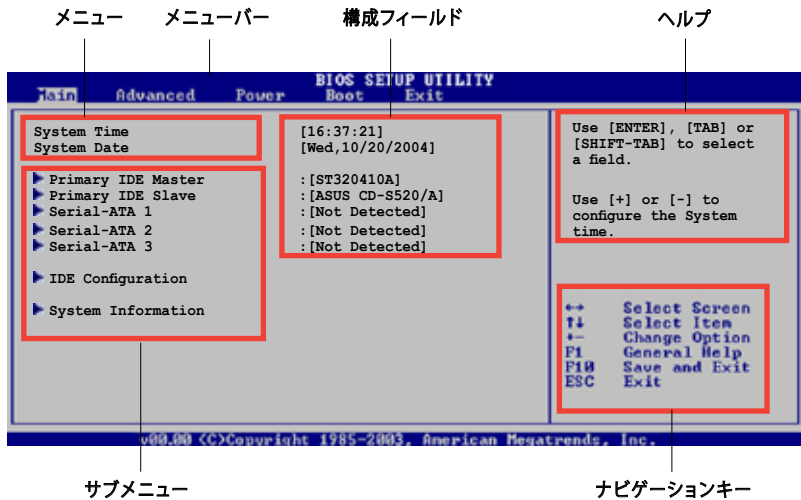
POSTの終了後にBIOS 設定プログラムを実行したい場合は、<Ctrl+Alt+Delete>を押すか、ケースのリセットボタンを押してシステムを再起動します。システムをオフにし、それからまたオンにすることによって再起動することもできます。ただし、これは最初の2つの方法が失敗した場合の最後の手段として行ってください。

BIOS 設定プログラムは簡単に使用できるように設計されています。メニュー画面から、ナビゲーションキーを使用してさまざまなサブメニューをスクロールする、使用可能なオプションから設定を選択することができます。



- このマザーボードの BIOSの初期設定値はほとんどの環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。BIOS 設定を変更した後システムが不安定になったら、初期設定値をロードしてください。初期設定値に戻すには、終了メニューの下に「**Load Setup Default**」を選択します。(詳細はページ 5-31「**5.7 終了メニュー**」をご参照ください)
- 本書に掲載した BIOS の画面は一例であり、実際に表示される内容と異なる場合があります。
- 最新の BIOS はASUS Web サイト ([www.asus.co.jp](http://www.asus.co.jp)) からダウンロードしてください。

## 5.2.1 BIOSメニュー画面



## 5.2.2 メニューバー

スクリーン上部のメニューバーには、次の項目があります。

<b>Main</b>	基本システム設定の変更用
<b>Advanced</b>	拡張システム設定の変更用
<b>Power</b>	拡張電源管理 (APM/ACPI) 設定の変更用
<b>Boot</b>	システム起動設定の変更用
<b>Exit</b>	終了オプションと初期設定値のロード用

メニューバーの項目を選択するには、キーボードの右または左の矢印キーを使って、項目をハイライト表示させます。

## 5.2.3 ナビゲーションキー

BIOS メニュー画面の右下には、メニューの操作をするためのナビゲーションキーの説明が表示されています。ナビゲーションキーを使用してメニューの項目を選択し、設定を変更します。

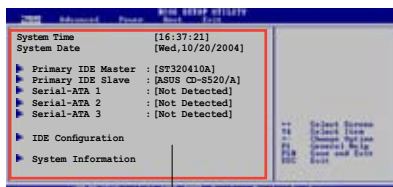


掲載した BIOS の画面は一例であり、実際に表示される内容と異なる場合があります。

## 5.2.4 メニュー

メニューバーをハイライト表示すると、そのメニューの設定項目が表示されます。例えば、メインを選択するとメインのメニューが表示されます。

メニューバーの他の項目 (Advanced、Power、Boot、Exit) には、それぞれのメニューがあります。



メインのメニュー

## 5.2.5 サブメニュー

サブメニューの項目の前には、黒い三角形が付いています。サブメニューを表示するためには、項目を選択し <Enter> を押します。

## 5.2.6 構成フィールド

構成フィールドには設定された値が表示されています。設定の変更が可能な項目は、フィールドの値を変更することができます。ユーザーによる変更が可能でない項目は、選択することができません。

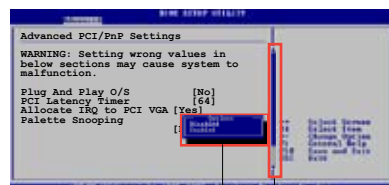
各値はカッコで囲まれており、選択するとハイライト表示されます。フィールドの値を変更するには、選択し <Enter> を押してオプションのリストを表示させます。詳細は次項「5.2.7 ポップアップウィンドウ」をご参照ください。

## 5.2.7 ポップアップウィンドウ

項目を選択し <Enter> を押すと、設定可能なオプションと共にポップアップウィンドウが表示されます。

## 5.2.8 スクロールバー

設定項目が画面に収まりきらない場合は、スクロールバーがメニュー画面の右側に表示されます。上/下矢印キー、または <Page Up>/<Page Down> キーで、スクロールすることができます。



ポップアップウィンドウ

スクロールバー

## 5.2.9 ヘルプ

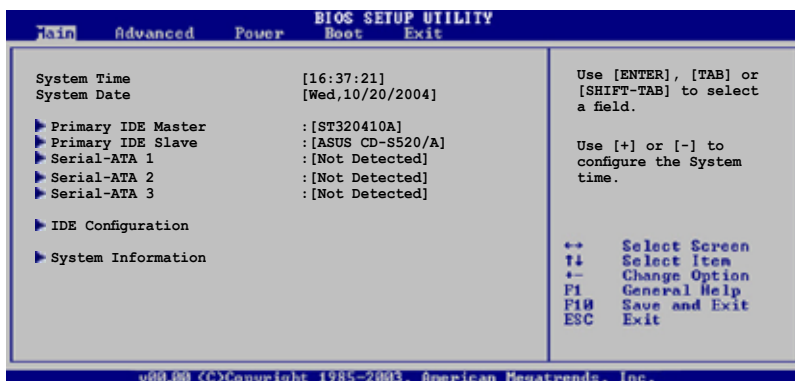
メニュー画面の右上には、選択した項目の簡単な説明が表示されます。

## 5.3 メインメニュー

BIOS 設定プログラムに入ると、メインメニューが表示され、システム情報の概要が表示されます。



メニュー画面の情報および操作方法については、「5.2.1BIOS メニュー画面」をご参照ください。



### 5.3.1 System Time [xx:xx:xx]

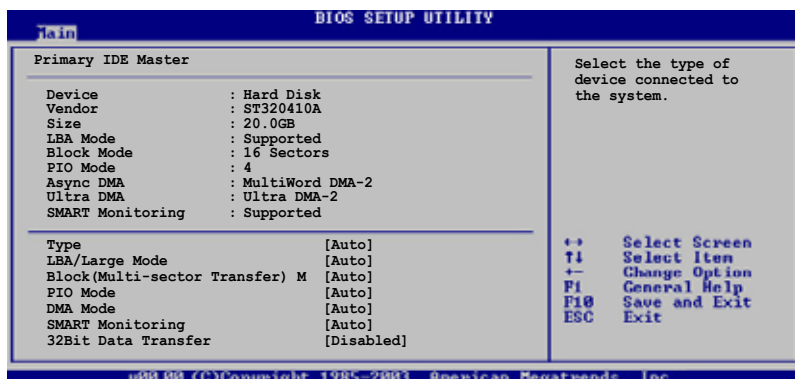
システム時間を設定します。

### 5.3.2 System Date [Day xx/xx/xxxx]

システム日付を設定します。

### 5.3.3 Primary IDE Master/Slave

セットアップ中に BIOS は自動的に IDE デバイスを検出します。デバイスを選択し、<Enter>を押すと IDE デバイスの情報が表示されます。



BIOSは、Device、Vendor、Size、LBA Mode、Block Mode、PIO Mode、Async DMA、Ultra DMA、SMART monitoringの各値を自動的に検出します。これらの項目の値は変更することはできません。また、システムに IDE デバイスが接続されていない場合は N/A と表示されます。

#### Type [Auto]

IDEデバイスのタイプを選択します。[Auto]に設定すると、適切な IDE デバイスタイプを自動的に選択します。光学ドライブを接続している場合は[CDROM]を選択します。デバイスがZIP、LS-120、MOドライブのどれかであれば、[ARMD] (ATAPI リムーバブルメディアデバイス)を選択します。

設定オプション:[Not Installed] [Auto] [CDROM] [ARMD]

#### LBA/Large Mode [Auto]

LBAモードの設定。デバイスがこのモードをサポートしている場合、[Auto]に設定すると、LBA モードが有効になります。デバイスが LBA モードでフォーマットされていない場合は無効になります。

設定オプション:[Disabled] [Auto]

#### Block (Multi-sector Transfer) [Auto]

マルチセクタ転送の設定。[Auto]に設定すると、デバイスがマルチセクタ転送機能をサポートしていれば、デバイス間のデータ転送をマルチセクタで行います。[Disabled]に設定すると、デバイス間のデータ転送は1セクタごとに行います。

設定オプション:[Disabled] [Auto]



## PIO Mode [Auto]

PIOモードを選択します。

設定オプション:[Auto] [0] [1] [2] [3] [4]

## DMA Mode [Auto]

DMA モードを設定します。

設定オプション:[Auto] [SWDMA0] [SWDMA1] [SWDMA2] [MWDMA0] [MWDMA1] [MWDMA2] [UDMA0] [UDMA1] [UDMA2] [UDMA3] [UDMA4] [UDMA5]

## SMART Monitoring [Auto]

SMARTによる監視、分析、報告機能を設定します。

設定オプション:[Auto] [Disabled] [Enabled]

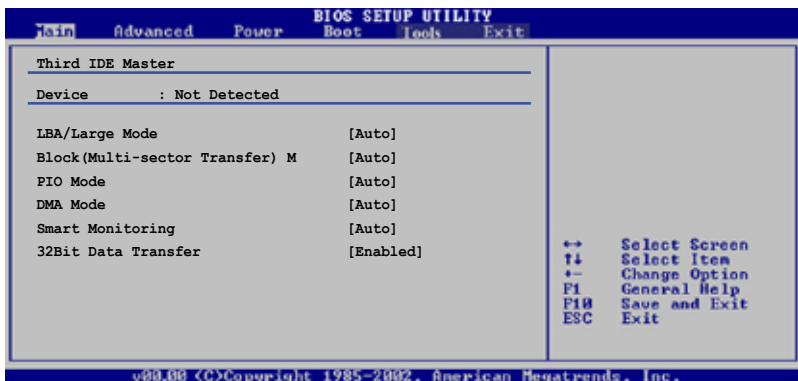
## 32Bit Data Transfer [Disabled]

32bit データ転送を設定します。

設定オプション:[Disabled] [Enabled]

## 5.3.4 Serial-ATA 1、Serial-ATA 2、Serial-ATA 3

セットアップ中に BIOS は自動的に Serial ATA デバイスを検出します。デバイスを選択し、<Enter>を押すと SATA デバイスの情報が表示されます。



BIOSは、Device、Vendor、Size、LBA Mode、Block Mode、PIO Mode、Async DMA、Ultra DMA、SMART monitoring の各値を自動的に検出します。これらの項目の値は変更することはできません。また、システムに IDE デバイスが接続されていない場合は N/A と表示されます。

### **LBA/Large Mode [Auto]**

LBAモードの設定。デバイスがこのモードをサポートしている場合、[Auto]に設定すると、LBA モードが有効になります。デバイスが LBA モードでフォーマットされていない場合は無効になります。

設定オプション:[Disabled] [Auto]

### **Block (Multi-sector Transfer) M [Auto]**

マルチセクタ転送の設定。[Auto]に設定すると、デバイスがマルチセクタ転送機能をサポートしていれば、デバイス間のデータ転送をマルチセクタで行います。[Disabled]に設定すると、デバイス間のデータ転送は1セクタごとに行います。

設定オプション:[Disabled] [Auto]

### **PIO Mode [Auto]**

PIOモードを選択します。

設定オプション:[Auto] [0] [1] [2] [3] [4]

### **DMA Mode [Auto]**

DMA モードを設定します。

設定オプション:[Auto] [SWDMA0] [SWDMA1] [SWDMA2] [MWDMA0] [MWDMA1] [MWDMA2] [UDMA0] [UDMA1] [UDMA2] [UDMA3] [UDMA4] [UDMA5] [UDMA6]

### **SMART Monitoring [Auto]**

SMART (Self-Monitoring Analysis & Reporting Technology) 機能の設定をします。

設定オプション:[Auto] [Disabled] [Enabled]

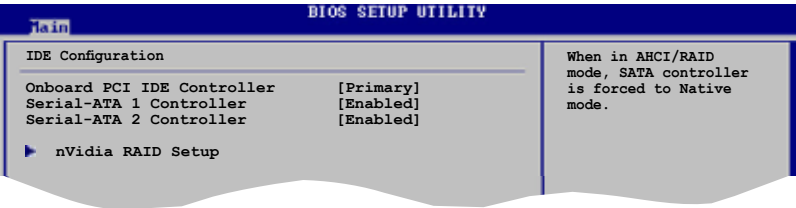
### **32Bit Data Transfer [Disabled]**

32bit データ転送を設定します。

設定オプション:[Disabled] [Enabled]

### 5.3.5 IDE Configuration

IDE デバイスの設定を変更します。設定を変更したい項目を選択し <Enter>を押します。



#### Onboard PCI IDE Controller [Primary]

PCI IDE コントローラのモードを設定します。[disable] に設定すると、統合型 IDE コントローラが無効になります。[Primary] に設定すると、Primary IDE コントローラが有効になります。

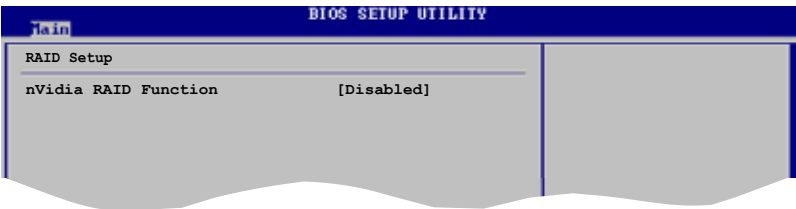
設定オプション: [Primary] [Disabled]

#### Serial-ATA 1/2 Controller [Enabled]

Serial-ATA 1 コントローラと Serial-ATA 2 コントローラを設定します。Serial-ATA 1 コントローラは SATA1 と SATA2 をコントロールし、Serial-ATA 2 コントローラは SATA3 をコントロールします。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

#### nVidia RAID Setup



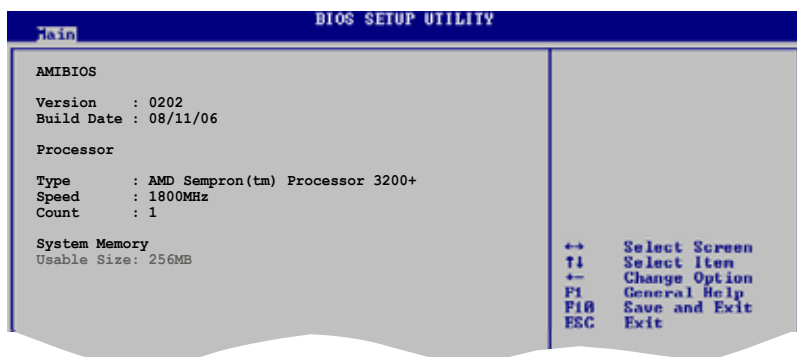
#### nVidia RAID Function [Disabled]

nVidia RAID 機能を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

### 5.3.6 システム情報

システム仕様の概要です。BIOS はさまざまな情報を自動的に検出します。



#### AMI BIOS

自動検出された BIOS 情報を表示します。

#### Processor

自動検出された CPU の仕様を表示します。

#### System Memory

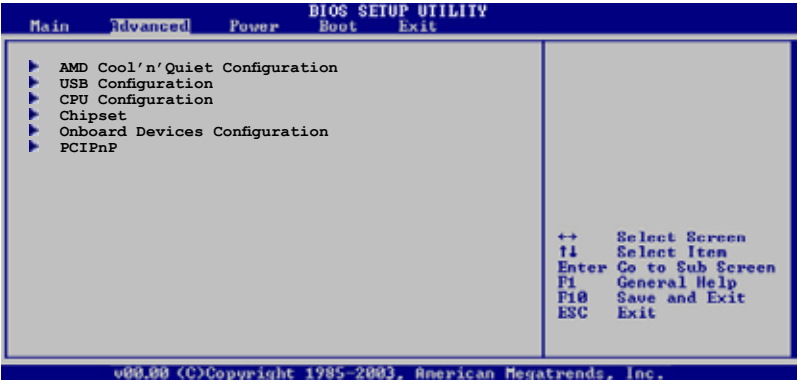
自動検出されたシステムメモリの容量を表示します。

# 5.4 拡張メニュー

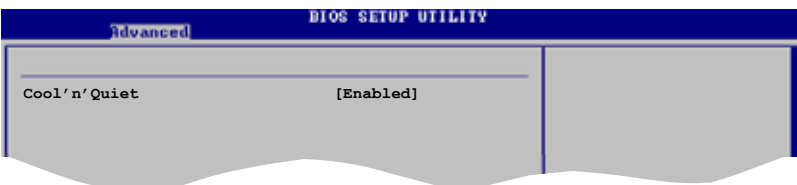
CPUとその他のシステムデバイスの設定を変更します。



拡張メニューの設定変更は、システムの誤動作の原因となることがあります。十分に注意してください。



## 5.4.1 AMD Cool'n'Quiet Configuration



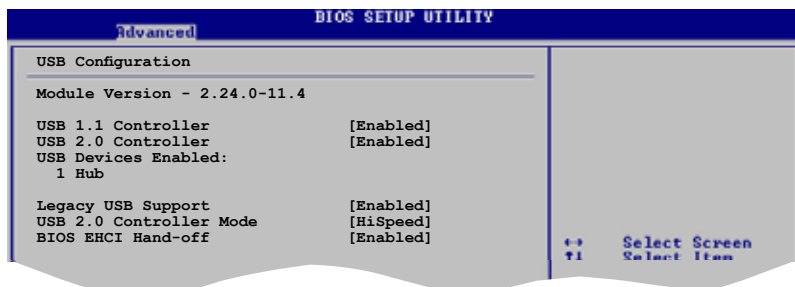
### Cool'n'Quiet [Enabled]

AMD Cool'n'Quiet 機能を設定します。

設定オプション:[Disabled] [Enabled]

## 5.4.2 USB 設定

USB関連機能の変更をすることができます。項目を選択し<Enter>を押して設定オプションを表示させてください。



「USB Devices Enabled」の項目には自動検出した値が表示されます。USB デバイスが検出されない場合は「None」と表示されます。

### USB 1.1 Controller [Enabled]

USB 1.1 コントローラを設定します。  
設定オプション:[Disabled] [Enabled]

### USB 2.0 Controller [Enabled]

USB 2.0 コントローラを設定します。  
設定オプション:[Disabled] [Enabled]

### Legacy USB Support [Auto]

レガシーUSB デバイスの設定。[Auto]に設定すると、起動時に USB デバイスを検出します。USB デバイスが検出されると、USBコントローラのレガシーモードが有効になり、検出されないとレガシー USB のサポートは無効になります。  
設定オプション:[Disabled] [Enabled] [Auto]

### USB 2.0 Controller Mode [HiSpeed]

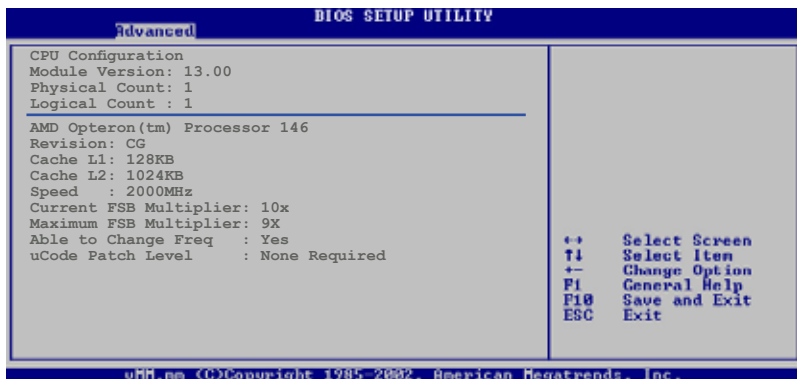
USB 2.0 コントローラのモードを設定します。HiSpeed (480 Mbps) または FullSpeed (12 Mbps) から選択します。  
設定オプション:[HiSpeed] [Full Speed]

### BIOS EHCI Hand-off [Enabled]

[Enabled]に設定することによって、EHCI ハンドオフ機能のない OS でも問題なく動作させることができます。  
設定オプション:[Disabled] [Enabled]

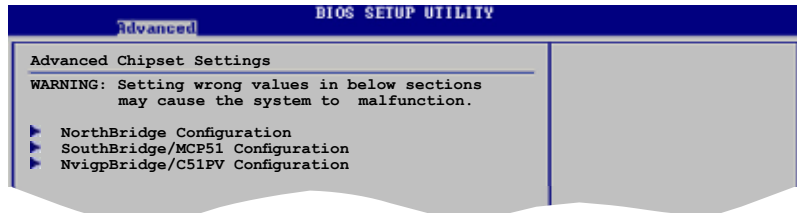
### 5.4.3 CPU の設定

BIOS が自動的に検出するCPU 関連の情報です。

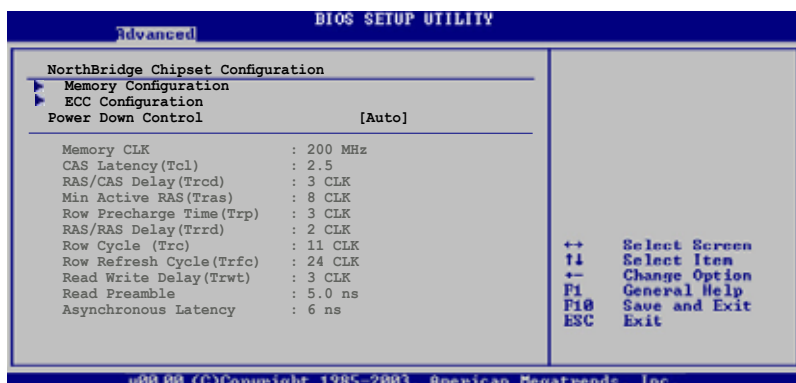


### 5.4.4 チップセット

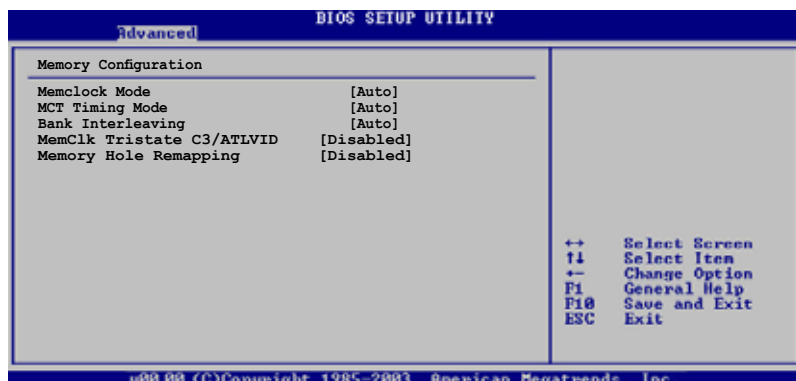
チップセットの設定を変更します。項目を選択し、<Enter> を押すとサブメニューを表示させることができます。



# NorthBridge Configuration



## Memory Configuration



### Memclock Mode [Auto]

メモリクロックのモードを設定します。  
設定オプション:[Auto] [Limit] [Manual]



次の項目は「**Memclock Mode**」の項目を [Limit] または [Manual] に設定すると表示されます。

### Memclock Value [200MHz]

設定オプション:[200MHz] [266MHz] [333MHz] [400MHz]



### MCT Timing Mode [Auto]

MCT Timing のモードを設定します。

設定オプション:[Auto] [Manual]



---

次の項目は「**MCT Time Mode**」を **[Manual]** に設定すると表示されます。

---

#### CAS Latency (CL) [Auto]

設定オプション:[Auto] [3.0] [4.0] [5.0][6.0]

#### TRAS [Auto]

設定オプション:[Auto] [5 CLK] [6 CLK]... [18 CLK]

#### TRP [Auto]

設定オプション:[Auto] [2 CLK] [3 CLK]... [6 CLK]

#### TRCD [Auto]

設定オプション:[Auto] [2 CLK] [3 CLK]... [6 CLK]

#### TRRD [Auto]

設定オプション:[Auto] [2T] [3T] [4T] [5T]

#### TRC [Auto]

設定オプション:[Auto] [11T] [12T] [13T]... [25T]

### Bank Interleaving [Auto]

バンクインターリーブ機能を設定します。

設定オプション:[Auto] [Disabled]



---

「**Bank Interleaving**」の項目は、この機能をサポートしているメモリを取り付けた場合のみ表示されます。

---

### MemClk Tristate C3/ATLVID [Disabled]

C3 と Alt VIDモードでの MemClk Tri-Stating 機能を設定します。

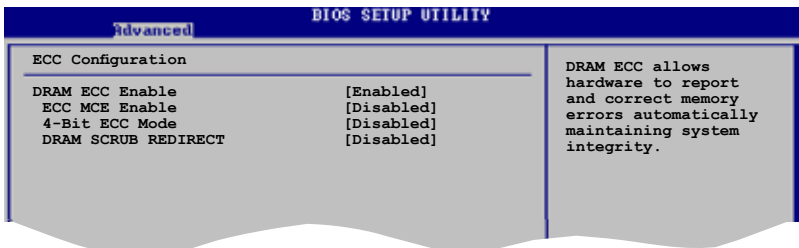
設定オプション:[Enabled] [Disabled]

### Memory Hole Remapping [Disabled]

メモリホール周辺へのメモリのリマッピングを設定します。

設定オプション:[Enabled] [Disabled]

ECC Configuration



**DRAM ECC Enable [Enabled]**

DRAM ECCを設定します。  
設定オプション:[Disabled] [Enabled]

**ECC MCE Enable [Disabled]**

ECC MCE Enable を設定します。  
設定オプション:[Disabled] [Enabled]

**4-Bit ECC Mode [Disabled]**

ECC Chip Kill 機能を設定します。  
設定オプション:[Disabled] [Enabled]

**DRAM SCRUB REDIRECT [Disabled]**

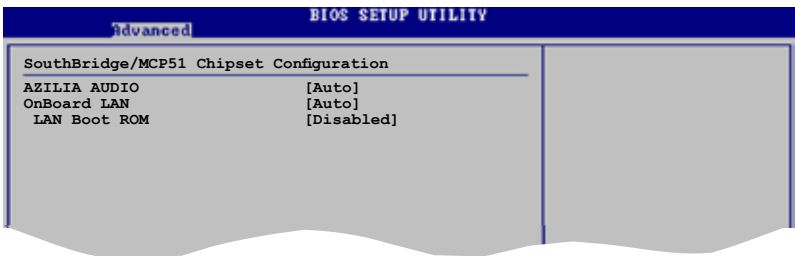
DRAM SCRUB REDIRECT を設定します。  
設定オプション:[Disabled] [Enabled]

Power Down Control [Auto]

メモリを不使用時に、メモリクロック信号をアサート停止することで、メモリを Power Down モードに切り替えます。  
設定オプション:[Auto] [Disabled]

## SouthBridge/MCP51 Configuration

SouthBridge の設定を変更することができます。



### AZALIA AUDIO [Auto]

HD オーディオ機能を設定します。  
設定オプション:[Auto] [Disabled]

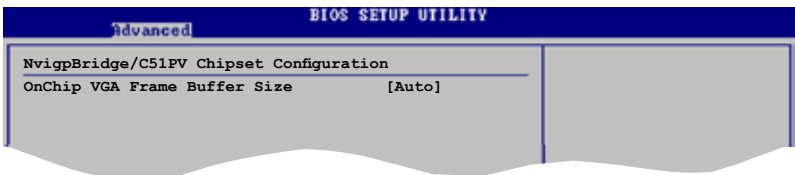
### OnBoard LAN [Auto]

オンボード LAN コントローラを設定します。  
設定オプション:[Disabled] [Auto]

#### LAN Boot ROM [Disabled]

オンボード LAN コントローラのオプション ROM を設定します。この項目は「Onboard LAN」の項目を [Enabled] に設定すると表示されます。  
設定オプション:[Disabled] [Enabled]

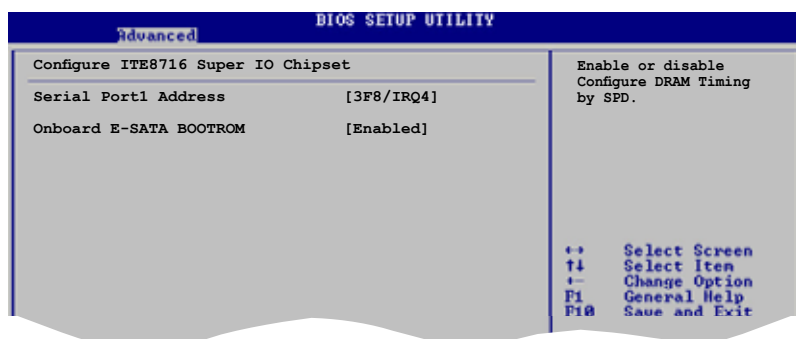
## NviggBridge/C51PV Configuration



### OnChip VGA Frame Buffer Size [Auto]

C51PV 共有メモリサイズを設定します。  
設定オプション:[Disabled] [16MB] [32MB] [64MB] [128MB] [256MB] [Auto]

## 5.4.5 オンボードデバイス設定構成



### Serial Port1 Address [3F8/IRQ4]

Serial Port1 ベースアドレスを選択します。

設定オプション:[Disabled] [3F8/IRQ4] [2F8/IRQ3] [3E8/IRQ4] [2E8/IRQ3]

### OnBoard E-SATA BOOTROM [Enabled]

Onboard E-SATA BOOTROM を設定します。

設定オプション:[Disabled] [Enabled]

# 5.4.6 PCI PnP

PCI/PnP デバイスの設定を変更します。



PCIPnP メニューの設定変更は、システムの誤動作の原因となることがあります。十分に注意してください。



## Plug and Play O/S [No]

[No] にすると、システム内の全てのデバイスはBIOSにより構成されます。[Yes] にし、Plug and Play OSをインストールしている場合は、起動に不要な Plug and Play デバイスは全てOSにより構成されます。  
設定オプション: [No] [Yes]

## PCI Latency Timer [64]

PCI デバイスレイテンシタイマーレジスタ用の PCI クロックの値を設定します。  
設定オプション: [32] [64] [96] [128] [160] [192] [224] [248]

## Allocate IRQ to PCI VGA [Yes]

[Yes] に設定すると、カードが IRQ を要求した場合に BIOS は IRQ を PCI VGA カードに割り当てます。[No] に設定すると、要求されてもBIOS はIRQ を PCI VGA カードに割り当てません。  
設定オプション: [Yes] [No]

## Palette Snooping [Disabled]

[Enabled] に設定すると、パレットスヌープ機能は ISAグラフィックスデバイスが正しく機能するように、このデバイスがシステムに取り付けられていることをPCIデバイスに通知します。  
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## IRQ-xx assigned to [PCI Device]

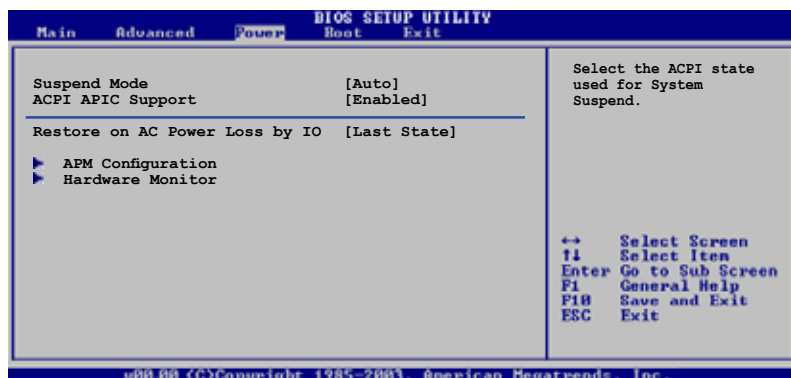
[PCI Device]に設定すると、特定の IRQ が PCI/PnP デバイスを自由に使用します。

[Reserved]に設定すると、IRQ はレガシー ISA デバイス専用になります。

設定オプション:[PCI Device] [Reserved]

## 5.5 電源メニュー

ACPI と APM 機能の設定の変更を行います。項目を選択し、<Enter>を押すと設定オプションが表示されます。



### 5.5.1 Suspend Mode [Auto]

システムのサスペンドに使用される、ACPI の状態を選択します。

設定オプション:[S1 (POS) Only] [S3 Only] [Auto]

### 5.5.2 ACPI APIC Support [Enabled]

APIC が、ACPI をサポートするかどうかを設定します。[Enabled] に設定すると、ACPI 設定内のRSDT ポインタリストにAPIC テーブルのポインタが追加されます。

設定オプション:[Disabled] [Enabled]

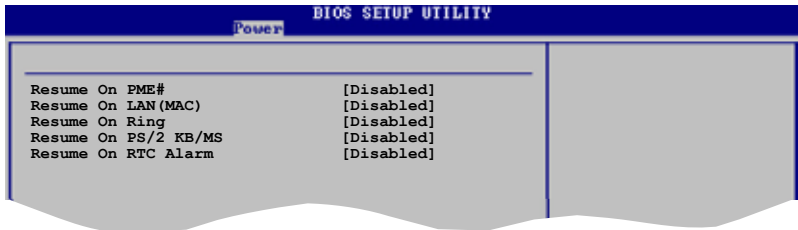
### 5.5.3 Restore on AC Power Loss by IO [Last State]

[Power Off]に設定すると、停電などで電力が遮断された場合に再通電時に電源をオフにします。また、[Power On]に設定すると、再通電時に電源をオンにします。

[Last State]に設定すると、再通電時に、直前の電源状態に戻ります。

設定オプション:[Power Off] [Power On] [Last State]

## 5.5.4 APM の設定



### Resume On PME# [Disabled]

PME でウェイクアップする機能を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

### Resume On LAN(MAC) [Disabled]

[Enabled] に設定すると、PCI LAN またはモデムカードからシステムを起動することができます。この機能を利用するには、+5VSB リード線で最低 1A 供給可能な ATX 電源が必要です。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### Resume On Ring [Disabled]

モデムからの信号でウェイクアップする機能を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### Resume On PS/2 KB/MS [Disabled]

キーボード上の特定キーまたは PS/2 マウスを使用して、システムをウェイクアップする機能を設定します。この機能を利用するには、+5VSB リード線で最低 1A 供給可能な ATX 電源が必要です。

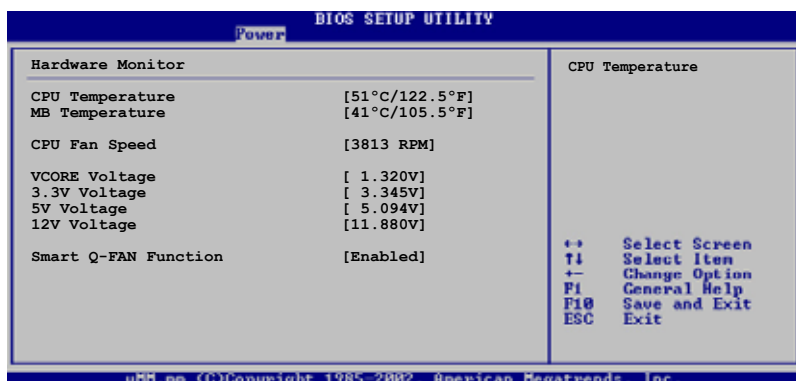
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### Resume On RTC Alarm [Disabled]

RTC でウェイクアップする機能を設定します。[Enabled] に設定すると、各項目 (RTC Alarm Date、RTC Alarm Hour、RTC Alarm Minute、RTC Alarm Second) が設定値とともに表示されます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## 5.5.5 ハードウェアモニタ



**CPU Temperature [xxx°C/xxx°F]**

**MB Temperature [xxx°C/xxx°F]**

オンボードハードウェアモニタはマザーボードと CPU 温度を自動的に検出して表示します。[Disabled]にすると表示されなくなります。

**CPU Fan Speed [xxxxRPM], [N/A], [Ignored]**

CPUファンスピードを自動的に検出して回転数/分 (RPM) の単位で表示します。マザーボードにファンが取り付けられていない場合、このフィールドには [N/A] と表示されます。

**VCORE Voltage, 3.3V Voltage, 5V Voltage, 12V Voltage**

オンボード電圧レギュレータを通じ、自動的に電圧出力を検出して表示します。

**Smart Q-FAN Function [Enabled]**

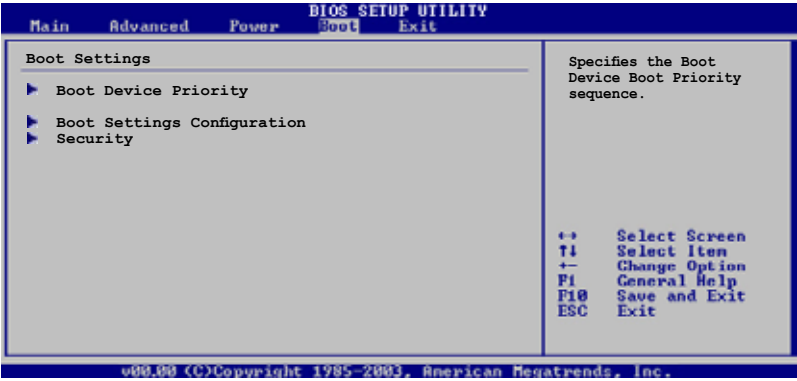
Smart Q-Fan 機能を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

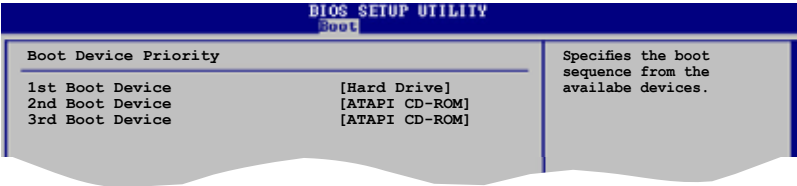


# 5.6      ブートメニュー

システムをブートする際のオプションを変更します。<Enter> を押してサブメニューを表示します。



## 5.6.1      ブートデバイスの優先順位

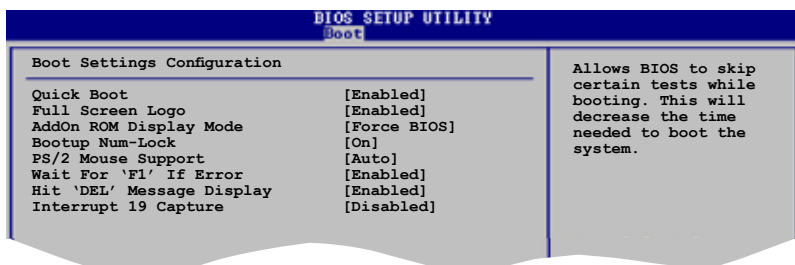


### 1st ~ xxth Boot Device [Hard Drive]

ブートさせるデバイスの優先順位を指定します。画面に表示されるデバイスの数は、ブート可能なデバイスの数です。

設定オプション: [xxxxx Drive] [Disabled]

## 5.6.2 起動設定



### Quick Boot [Enabled]

起動中にいくつかの自己診断テスト(POST)をスキップして、システムの起動をスピードアップさせます。[Disabled] に設定しているときは、BIOS はすべての POST 項目を実行します。  
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### Full Screen Logo [Enabled]

フルスクリーンロゴの表示/非表示を切り替えます。  
設定オプション: [Disabled] [Enabled]



ASUS MyLogo2™ 機能をご利用になる場合は「Full Screen Logo」の項目を [Enabled] に設定してください。

### Add On ROM Display Mode [Force BIOS]

オプション ROM に対するディスプレイのモードを設定します。  
設定オプション: [Force BIOS] [Keep Current]

### Bootup Num-Lock [On]

電源をオンにしたときの、NumLock の状態を選択します。  
設定オプション: [Off] [On]

### PS/2 Mouse Support [Auto]

PS/2 マウスのサポートを設定します。  
設定オプション: [Disabled] [Enabled] [Auto]

### Wait for 'F1' If Error [Enabled]

[Enabled] に設定するとシステムはエラー発生時に <F 1> キーを押すまで待機します。  
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## Hit 'DEL' Message Display [Enabled]

[Enabled] に設定すると、POST 中に「Press DEL to run Setup (Delete キーで BIOS メニューを表示)」というメッセージが表示されます。

設定オプション:[Disabled] [Enabled]

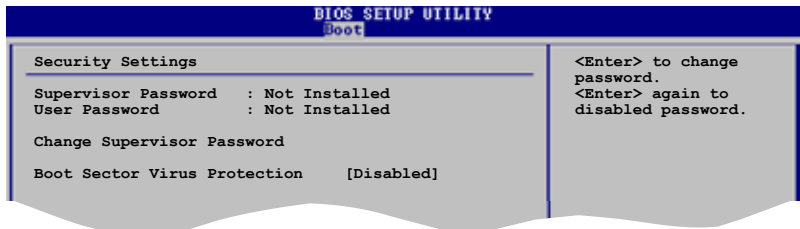
## Interrupt 19 Capture [Disabled]

[Enabled] に設定すると、オプション ROM (SCSI や IDE RAID の BIOS 等) が Int 19 を検出可能になります。

設定オプション:[Disabled] [Enabled]

### 5.6.3 セキュリティ

システムセキュリティ設定の変更。項目を選択し、<Enter> を押すと設定オプションが表示されます。



### Change Supervisor Password

管理者パスワードの設定または変更を行います。画面上部に表示されている「**Supervisor Password**」は、初期設定値は「**Not Installed**」になっています。パスワードを設定すると、「**Installed**」に変更されます。

管理者パスワードの設定手順

1. 「**Change Supervisor Password**」を選択し、<Enter>を押します。
2. 「**password box**」で、6 文字以上の英数字からなるパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認を要求されたら、もう一度パスワードを入力します。

パスワードの設定が完了すると、「**Password Installed**」というメッセージが表示されます。

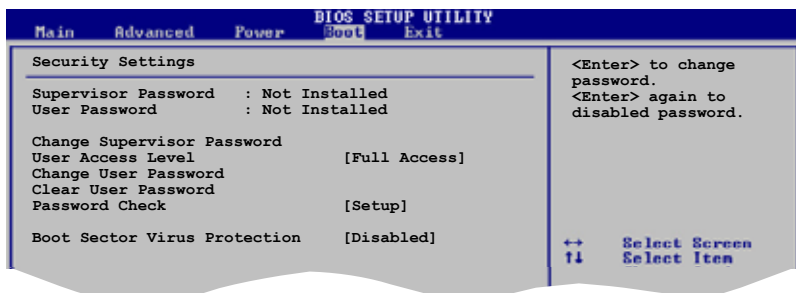
管理者パスワードを変更する場合は、設定と同じ手順に従います。

管理者パスワードの消去は、「**Change Supervisor Password**」を選択し、<Enter> を押します。消去すると「**Password Uninstalled**」というメッセージが表示されます。



管理者パスワードを忘れた場合、CMOS リアルタイムクロック(RTC) RAM を消去してパスワードをクリアすることができます。RTC RAM を消去する方法については、「4.3 ジャンパ」のページをご参照ください。

管理者パスワードを設定すると、他のセキュリティ設定を変更するための項目が表示されます。



## User Access Level (Full Access)

BIOSメニューへのアクセス制限の選択。

設定オプション: [No Access] [View Only] [Limited] [Full Access]

[No Access]、BIOSメニューへのユーザーのアクセスを拒否します。

[View Only]、アクセスは許可しますが設定の変更はできません。

[Limited]、日時など、限られた設定のみを変更することができます。

[Full Access]、すべての項目を表示、変更することができます。

## Change User Password

ユーザーパスワードの設定または変更をします。画面上部に表示されている「**User Password**」は初期設定値では「**Not Installed**」になっています。パスワードを設定すると、「**Installed**」に変更されます。

ユーザーパスワードの設定手順

1. 「**Change User Password**」を選択し、<Enter>を押します。
2. 「**password box**」で、6文字以上の英数字からなるパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認を要求されたら、もう一度パスワードを入力します。

パスワードの設定が完了すると、「Password Installed」というメッセージが表示されます。

ユーザーパスワードを変更する場合は、設定と同じ手順で行います。

## Clear User Password

ユーザーパスワードをクリアします。

## Password Check [Setup]

この項目を[Setup]に設定すると、BIOSはBIOSメニューへのアクセス時に、ユーザーパスワードの入力を要求します。[Always]に設定すると、BIOSはBIOSメニューへのアクセス時と、システムの起動時に、ユーザーパスワードの入力を要求します。

設定オプション:[Setup] [Always]

## Boot Sector Virus Protection [Disabled]

Boot Sector Virus Protection (ブートセクタウイルス保護)機能を設定します。

設定オプション:[Disabled] [Enabled]

## 5.7 終了メニュー

BIOS 設定の保存や取り消しのほか、初期設定値の読み込みを行います。



<Esc>を押してもこのメニューは終了しません。「Exit」メニューからいずれかの項目を選択するか、<F10>を押して終了します。

## Exit & Save Changes

BIOSの設定が終了したら、「Exit」メニューからこのオプションを選択し、設定をCMOS RAM に保存して終了します。オンボード用のバックアップで搭載されているバッテリーは、コンピュータの電源がオフになっているときでもBIOSの設定内容を保存します。この項目を選択すると、確認ウィンドウが表示されます。「YES」を選択すると、変更を保存して終了します。



---

設定を保存せずに<ESC>でBIOSメニューを終了しようとする、終了する前に変更を保存しますかと尋ねるメッセージが表示されます。その場合は<Enter> 押して変更を保存します。

---

## Exit & Discard Changes

BIOSメニューで行った設定を保存したくないときに、この項目を選択します。ただし、システムの日付、システム時間、パスワード以外の設定を変更した場合は、終了する前に確認のメッセージが表示されます。

## Discard Changes

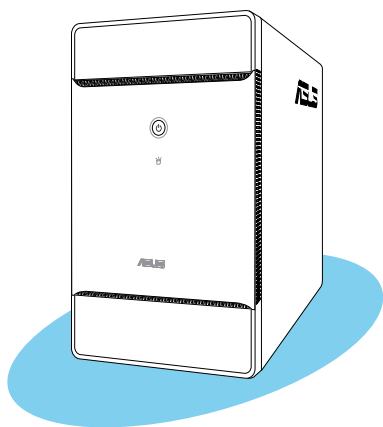
BIOSメニューで設定した変更を破棄し、以前保存したときの値を復旧します。このオプションを選択した後は、確認のメッセージが表示されます。確認のメッセージの表示で「YES」を選択すると変更を取り消し、以前保存したときの値がロードされます。

## Load Setup Defaults

セットアップメニューのそれぞれの値に、初期設定値をロードします。このオプションを選択するか、<F5> を押すと確認画面が表示されます。「YES」を選択して初期設定値をロードします。「Exit & Save Changes」を選択するか、他の変更を行ってから設定を保存します。

# 参考

本システムがサポートしている電源装置  
の規格について



参考

# システムがサポートしている電規格

## 入力特性

入力電圧範囲	中	通常	最大
エリア 1	100 V	115 V	130 V
エリア 2	200 V	230 V	260 V
入力周波数範囲	50 Hz ~ 60 Hz		
最大入力 AC 電流	6 A/115 VAC 3 A/230 VAC (最大負荷)		
突入電流	突入電流が発生しない、コンポーネントにダメージを与えない		
効率	65% 以上/115VAC、最大出力負荷		
電流高調波	EN61000-3-2 @ 100 VAC/50 Hz を満たす、 または最大負荷時 230 VAC/50 Hz を満たす		

## 出力特性

出力	負荷の範囲		電圧変動範囲		リップル
電圧	最小	最大	最小	最大	最大
+5 V	0.3 A	18 A	-5%	+5%	50 mVp-p
+12 V	1 A	14 A	-5%	+5%	150 mVp-p
-12 V	0 A	0.3 A	-10%	+10%	200 mVp-p
+3.3 V	0.3 A	16 A	-5%	+5%	50 mVp-p
+5 VSB	0.1 A	2.5 A	-5%	+5%	50 mVp-p

## 過電圧保護: Over-Voltage Protection (OVP)

過電圧	最大電圧
+3.3V	4.6V
+5V	7V
+12V	15.6V